

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-15))」

2. 日時: 令和5年2月7日(火) 10時00分~12時00分
16時30分~17時10分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 松本執行役員 技術本部副本部長(土木建築) 他19名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ

グループマネージャー 他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー他1名

電源開発株式会社 原子力技術部 原子燃料室 上席課長

東北電力株式会社 原子力部 原子力技術 副調査役

東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 担当職

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の竹田です。
0:00:04	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:08	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認について、
0:00:14	工認の申請状況の確認と、マター2月3日に提出があった計算書の修正方針についてのヒアリングを行うものです。
0:00:24	まず規制庁側の出席者紹介いたします。本庁側から、コサクフジワラカミデシミズだけが、
0:00:33	以上になります。
0:00:35	ウェブからの出席がハバサキタジリタカナシセトガワオオハシ医療になります。
0:00:43	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、出席者の役割、
0:00:48	T O W A 藤間瀬設工認の進捗状況について説明をお願いいたします。
0:00:57	はい。日本原燃事務局仲間です。
0:01:00	原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:04	まず設備分類関係で、エビナタナカ。
0:01:09	設備構造関係で、イシハラス水。
0:01:13	溢水関係で、柴垣。
0:01:16	火災防護関係で、チダ、
0:01:20	地盤関係で、トガシ、
0:01:25	計算書の修正方針につきましては、ムラヤマサガワホシノククチ。
0:01:33	S A 関係で、セガワホリグチ。
0:01:36	事務局佐藤。
0:01:39	高橋。
0:01:41	フジノナカハマ以上となります。
0:01:45	それでは設備分類側からご説明を開始させていただきます。
0:01:53	すいません、古作です。
0:01:56	はい。ごめんなさい。今出席者を聞いたところだと耐震のメンバーが、
0:02:02	少ないような気はするんですけど、というのは、この後耐震の部隊の話を、
0:02:07	していくと思ってたんですが、それはまた別途、
0:02:12	てことですかね。

0:02:16	修正、宮でございます。引き続きやつについてはまた別途、出席者紹介をさせていただいてます時間もあるので、すでにここにはいますけども坂井と切り分けてということでやらせていただきました。
0:02:31	わかりました。ではよろしく申し上げます。
0:02:35	はい、日本石田でございます。昨日ですね、設備のカウントのこの方針について資料を修正して出させていただきます。
0:02:46	すいません青字の示し方で、
0:02:51	こちらのセンスもなく強烈にその他事項の分類が見えみたいになってますけども全体としては、A、B値からB4までの分類についてこれまでお話しした中での、
0:03:02	懸念事項も踏まえて伝わることを前提に整理をさせていただいたということが大前提でございます。
0:03:11	その上で、その分類にちゃんとその他変更のやつもはまっていますよということをやちゃんと整理をするために言いながら、言った、多少た方です言葉足らずのところがありますけども、
0:03:24	補足をしながら説明をさせていただきますかいつまんでですけども、の新規に設置するものを、右下2ページでございます。こちらについては文字どおり、
0:03:37	冷却塔に移設して設置するのを新規に設置すると整理した上でしっかりと設計を説明するんだと、いうことを前提に、設備リストで新設となっているものをしっかりとカウントしていくということです。
0:03:50	はい。その他変更とかいくつか書いてありますが、
0:03:57	例えばですけども、
0:04:00	例示で書き方がちょっと間違っているところを補足させていただきますが、緊急への有毒ガスの対応については、緊対だったり通信連絡設備だったり、新規になるものはここでカウントをして、
0:04:13	関連条文をしっかりと示した上で抜けがないようにということでやらせていただいています。
0:04:18	漏えいけがの集計、収益の移行を検知する装置ですが今10条、20条と書いてますが、ここにすみません四条が抜けてましてもともと臨界のことを考えて設置するものですので、
0:04:31	四条十条20条ということで10条は、漏えいするのを早期に検知するという意味での関連ということで、4020というのがだか、

0:04:42	関係する条文であるということで、抜けがございました。
0:04:46	はい。あとはT B Pの受入槽等集約タンクを地下に移設したものをこのまま、冷却塔の話と一緒に、新規ものとして整理をするということにさせていただきました。
0:04:59	次に3ページのB1でございます。こちらもなぜB1に割りつけたのかというその他関係の変更が、
0:05:08	しっかりと書かれてないところは明示をしていきたいと思っておりますけども、
0:05:14	一つ目の第2低レベル廃棄物貯蔵系とか遮へい設備を保管容量をふやしたことによる、設備としての設計を説明する事項。
0:05:24	これについては設工認申請既認可の容量であったりとか遮へいA評価の条件が変更になったということでB1にカウントするということで整理をしました。
0:05:34	また、3番目、その他変更の3番目に入ってます各建屋の再編設備これ敷地であったり周辺監視区域並びに安全解析使用する気象条件等の変更でございますけどもこれも
0:05:49	遮へい評価の条件が変更になったということでB値ということで整理をいたしました。
0:05:54	最後の第2ページの給電先についてはこれ設計として和布、
0:05:59	何に給電するのかという設計の条件が変更になったということでビーチにカウントしてございます。
0:06:08	右下5ページにあるのがBでございます。これも考え方はやりとりをさせていただいた考え方で整理をしていくということと、あとは、具体的な設備のところ、A Bに整理するとしたのは有毒ガス対応のうち制御室の換気設備等は、
0:06:25	居住性評価以外で追加で誘導活動評価が必要になったということで整理をしてB2ということで整理をさせていただきました。
0:06:35	右下6ページにあるそれぞれその他の要件についても、設計条件の追加ということで整理してございます。
0:06:46	多少なりとも悩まなかったのかということでいきますと、一番悩んだのは一番最後の精製建屋の一条設備の配管。
0:06:56	蒸気系の配管を、プルトニウムの誤移送の臨界のことを考慮して、

0:07:04	配管を切断してその移送先を移送ラインをなくすという工事をしたものの。
0:07:09	これもすみません、四条が抜けてますので4条と10条の話です。
0:07:14	こちらも臨界を防止するという意味でのいわゆる誤移送の防止の措置が追加になったということで設計条件の追加ということで、右にカウントしました。大枠の
0:07:27	要は誤移送臨界みたいな防止するというのは、条件からしたら、追加でも何でもないんですけど、結局いろいろ話をしながら右にカウントさせていただいたということでございます。
0:07:39	はい。あと、Bさんは特段いじっておりません。4でございますが右下8ページ、こちら新設または改造にかかわらないということが条件ですということを明確にしたのと、
0:07:54	具体的な対象としては、既認可でやっていたことから、変更がないということの中に、すでに単品で工事をするために設工認を変更していたものを変更して認可を終えていたものも、この中に入れるということで整理をさせていただきました。
0:08:12	具体的には、いよいよ模擬廃棄の受入れるそ排気の受入槽ですとか、
0:08:17	茂木表敬の配管であるというのが、この中に入っております。
0:08:23	あと温度計の方がですねこれも単品で認可をいただいているものが、近隣からの扱いと同じということで、B4ということで整理をさせていただきました。
0:08:34	はい。簡単ですが、説明は以上になります。
0:08:40	規制庁武田です。ありがとうございます。今の説明で、規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:08:53	規制庁コサクです。
0:08:57	検討は深められてるんだと思うんですけど、
0:09:06	表現ぶりなのかもしれませんが、
0:09:13	これはその条文の整理ではなくて、条文ごとの設備の整理であって、
0:09:21	特にその3ページのB一井D、二つ目のポツで、条文が対象って書いてあることがすごい気になってるんですけど。
0:09:31	なんで設備が対象じゃないんですか。

0:09:36	はい。人間の資料、これもそういえばと言って恐縮でございます私が使い抜けた話で前回そんな話をさせていただいておったと思っておりますでちょっと修正が足りてませんね。
0:09:48	条文が対象って最終的には設備が対象になることに変わりはありません。ある程度一つの条文が完全に設計が追加になったというものに対して、
0:10:00	いわゆる事細かく設備ごとにこれはビーチこれはB2 これはBさんということではなくて、その要求が丸々追加になったんだということを年齢前提に、
0:10:13	整理をしていくと、いうことを対象とした設備ですけどもそういう整理の仕方をしたいというのが、丸の二つ目のポツでございます。意図が伝わるようにしないといけないと認識をしました。以上です。
0:10:26	古作です。何でそんなこと言うかっていうと、具体的な対象の一つ目のポツで赤字で書かれたものが、結局何。
0:10:36	を言わんとしているのか、共通的な考えとしてはどういうことなのかっていうのが結局まとめられてないと。
0:10:43	言う古藤なんです。
0:10:46	で、クラス分類の皆おしいがなぜ条件変更の内数になるのかという考えは整理されてるのでしょうか。
0:11:07	はい。移入元西原でございます。
0:11:10	まず、前提としてすいませんしょうもない確認で恐縮です機能を、資料提示せず、黒岡青鹿字がなかったはずなんですけど、これ。
0:11:20	見ておられるのが一緒かなってというのがまず、
0:11:26	一緒です。
0:11:28	わかりました。
0:11:30	9、少々お待ちください。
0:11:36	表示されてるか。
0:11:46	はい乳井西原でございますはい。赤字今画面に出てるやつですねすいませんでした。
0:11:59	CからA数になったもの等の耐震クラスの見直しについては、耐震設計の考え方についてはその耐震クラスに応じた設計方針は変わっていないんですけども、

0:12:10	設備をそのまま見た時にはSクラスに対する要求というのが、条件としては変更になったということで、設備短期で来たときにB1に整理をしようということでさせていただきました。以上です。
0:12:23	コサクですちょっとよくわからないんですけど、
0:12:29	クラス分類見直しワー、なぜ条件変更なんですか古瀬案。
0:12:36	項目追加じゃなくて、
0:12:40	条件追加。
0:12:48	はい。日本へのイシハラでございます。はい。
0:12:55	こちらで考えたのが正しいと思ってますあくまでSクラスに対する要求が追加になったということであればおっしゃる通りBというカウントで私はSクラスに対する要求が、
0:13:09	もともとCクラスの要求だったものがSクラスの要求に変わったという意味で、変更ということで、整理をしたということでございます。
0:13:20	です。
0:13:22	このヒアリングだと。
0:13:24	結構迷いが良いところはありつつも、我々、
0:13:29	最終的にこういうふうに説明をしていきますという考えに立つと、例えばこれは他のSクラスと一緒に説明していくものだから、
0:13:39	ここ2ドッキングさせるっていうようなことを話したんじゃないかと思っただけ。それが共通の考え方として示されるべきなんじゃないかと思うんですけど。
0:13:49	今の話だと、何か、まだその位置に立ててなくて、医師、何か分類の話をしていくような感じがするんですけど、どんな感じですか。
0:14:04	はい。人間のイシハラでございますそうですねすみません。私の頭の整理が追いついてないかもしれませんね。おっしゃっていただいているように前回のやりとりで結局何を説明するかということであれば他のSクラスの基準地震動が変更になったものと、
0:14:22	あわせてSクラスに対する評価を説明していくと、いうことを考え、上で、定例ビーチ耐震を考えていますということに、と同じように説明をしていくという意味でB値に整理しますと、
0:14:35	ということのやりとりをしていたというのを、があった。ありましたね。はい。すみません。そういう整理をしています。はい。申し訳ありません。

0:14:46	これは、
0:14:47	ごめんなさい、古作です。なので考え方の二つ目のポツワー、変更された条文が対象ではなくて、
0:14:55	条件がへ上変更した条件での、
0:15:00	その差分を説明していく設備っていうような、
0:15:05	意味合いになるはずで、
0:15:08	それを踏まえると下のポツで庫数の見直しあるけども、累計として、累計の中で、何だろう。
0:15:18	元からSなのと同等の評価をしているので合わせて分類しますと、
0:15:24	ということだと思います。
0:15:29	はい、弓削西田でございます。はい。ありがとうございます。申し訳ありませんでしたです。はい。
0:15:34	すいません。カミデです。ついでで聞くと、
0:15:37	SからCになったものは、
0:15:39	どこに入ってますか。
0:15:53	弓削西田です。ちょっとだけ待ってください。
0:16:09	コサクですけどヒントを言うと、
0:16:11	Cのうち波及的影響があるものを除くです。
0:16:21	はい、二本木西原でございます。はいありがとうございます。いえ、いえ、うちの中でもB Oに入っていました。はい。すいません。
0:16:31	わかりました。C S CからS棟がBからS棟だけだと。
0:16:37	リンクSが含まれていることだとは思いますが、ややこしいものがあるんでわかりやすいようにしておいた方がいいと。
0:16:45	はい。
0:16:47	はい、乳井西原を抱えますありがとうございます我々もその他変更で、※うってわざわざ両方書いたのに片一方しか書いて恐縮でございます。はい。
0:17:03	古作です。で、ちょっとす。
0:17:06	急ぎでやって申し訳ないですけど、6 ペイジー D、最後の誤移送防止について、
0:17:15	追加というほどではなくて本来元からやってるんですけどって言いながら追加といい変更じゃないと。
0:17:23	言っているところは、

0:17:25	その心は何ですかね。
0:17:44	はい西田でございます。はい。
0:17:51	誤移送臨界飯野防止っていうのはもともと、全体としては含み設計はあってそれに基づいている設備を考えていると、ということだと。
0:18:01	いう整理のもとに、設備単品これ条文と言いながら設備単品で見えておりますけども、設備に着目するとそういう条件が追加になって改造したんだと。
0:18:16	いうことで整理をしました。これもすいませんしゃべりながら、うまく整理できてないのはわかってます。
0:18:23	古作です。結局改造目的とカー、
0:18:29	その会、高次脳適切性を説明するときに、既認可説明しているかどうかということ。
0:18:38	であってその土俵で対応できるものは、B値にするという基本思想だと思うんですけど、今の話はビーチには入れられない新たな評価内容とかっていうことになるんですか。
0:18:57	はい、出野石田でございますはい。私の頭が追いつかないところを整理いただきありがとうございます。さっき、今おっしゃっていただいたもとの設計方針でうたっているものを、
0:19:10	それに
0:19:12	該当することになったということであればビーチの中で整理ができるということについてはおっしゃっていただけてる通りだと思います。頭の中でグループでもありながら、結論はあっち行ったりこっち行ったりしてたんですけど
0:19:25	B1の中で整理が十分できると小磯委員会の設計方針についてはもともとから、近隣からやっているものでその中にこれがカウントされるということだと理解をします。以上です。
0:19:38	はい、古作です。同じような話ですけど、そのページの一番上のフィルタユニットについてもどうなのかなと思いますけど、これ田尻さんどう思います。
0:19:52	有井です。いや何かここ、前に行くのかどうなのかみたいな話があったと思うんですけどこの整理っていうのは、実質的にあったなかった別として結局設置したという整理なのかなと思ってたんです。ここって県内はどう考えて今B1Bか日入れたんでしたっけ。

0:20:24	はい。2 番目にイシハラでございます。
0:20:27	はい。そうですねこれもすいません私がグルグル回ってるだけかもしれないですねおっしゃっていただいて、仕様表上はもともと一段の精度しかない。書いてなくて、2 段目の性能が
0:20:40	追加になるということ。これは元があったかどうかは別として、設工認上は、ものが追加になるという整理もできるよねっていうのが新設になったという整理もできるよねっていうのは以前お話をしてた。
0:20:52	ということで記憶をしました記憶を思い出しましたっていう言い方で失礼ですね。あとは評価として、
0:21:02	他でやっていたような、被ばく評価の数に入れてたものが試験としては、フィルターが1年か2回になったということで条件が追加になったと。
0:21:13	しゃべりながらこれも変更でもいけるんじゃないかという気がしてきましたけど、そういう整理をさせていただいたということでございますおっしゃっていただいたように一段、
0:21:23	しかなかったものが、設計、設工認上どういう説明するかは、2 段目が追加になりましたという説明新設されましたという説明でも、整理ができるのでここはすいませんもう一度整理をさせていただきます。以上です。
0:21:39	規制庁の田尻通一応認識合わせしておきたいんですけど先ほど条文っていうのが僕にあって話もあったと思うんですけど、評価の話等、設備の話どれを主語でとらえるかなんすけどあくまでここ設備給水の話だと思うので、評価条件が変わったどうこうというよりはその設備が追加になってないんでとらえた方が、
0:21:58	いいと思っているので、この固化セルに関して設備が増えたっていうんだっただけでもいいだろうなと思ってるところなんで、整理のほどよろしくをお願いします。
0:22:11	はい。ありがとうございます。
0:22:16	規制庁谷です。津波についてなんですけどさっきのところの関係業務いろいろ書かれてたと思うんですけど、あれっていうのはそれを、例えばさっきの十条とか臨界の4乗とかのところでも、このその他変更でやったものっていうのはそれぞれの条文の新規のところの1っていう数字がつくと思えばいいんですけど。

0:22:34	はい。日本原燃石原でございますはい。そういうつもりで書かせていただきました。
0:22:40	規制庁田尻です。なんで関係条文広げとる形になって、それぞれのところでカウントしてっていうので、だから、いろんな条文のところで割とのところに数字がつくような感じですよ。状況はわかりました。
0:22:54	古作です。今のお話でフィルタユニットをに入れるんだとすると、
0:23:01	等、
0:23:02	どこだっけ
0:23:03	ええ。
0:23:04	具体的な対象の一つ目のポツで、移設して新規に設置する設備含むということで迷わないようにという工夫をされたんだと思うんですけど。
0:23:18	実際には既設であっても設工認で取り扱っていなかった機器についての、
0:23:26	ものも含むという、
0:23:28	ことを言っとかないといけないのかなと思います。で、そうすると、その表現だけだとBさんとどう違うんだっていうことになるんですけど、
0:23:39	そこわあ、
0:23:42	何ですかね、内容は、
0:23:45	既設のと機能要求事項と違くな。
0:23:49	でっていうことですかね。
0:23:54	はい。日本ネシアでございますはい。おっしゃっていただいていることは、書かなきゃいけないと今も思ってますただおっしゃっていただいている懸念もありますんで、既設の要求事項との違いを説明する。
0:24:08	その既認可時の要求事項のすぐ差分を、
0:24:13	ちゃんと明示して迷わないようにということかと思います。
0:24:18	はい。補足ですよろしく申し上げます。
0:24:26	規制庁側から他、分類関係で、
0:24:31	疑問なところなり、確認しておきたいところありますか。
0:24:36	規制庁の谷井です。2点ばかり認識確認しておきたいんですがまず右下3ページなんですけど、直接線及びスカイライン線の線量当量の評価ってというのがごみ置き場のほうの話で書かれていて、

0:24:49	これ実質的に評価結果は変わらないけれど、条件が変わったっていう意味で、そういったものに関しては漏れなくここに入ってくると思っておけばいいですかね。
0:24:58	はい。日本原燃石原でございますはい。おっしゃっていただいている通りでございます。
0:25:03	はい。規制庁丹治です。その時に、2点目も関連してに近いんですけど、7ページのところで構内接地網の話書いていて、
0:25:12	落雷をどうとらえるかの話なんですけどこの間冷却塔のネットの話行った1回申請の時のネットの避雷設備とかの話でB2とかの絡みで言っていたような気もしていて、
0:25:23	この構内接地網とってというのは、既設で昔からあったもので新しいものを設置しないやつは小高っていうことでいいんですかねなんか落雷の条件変わったってとらえるかどうかなんですけど。
0:25:34	はい乳井西田でございます。はい。構内接地のところがおっしゃっていただいた既設からもともとあって、
0:25:44	条件が、条件が270キロアンペア云々の話は確かにあれど、設置法として受けた落雷を、敷地内で分散して、
0:25:55	形状上を抑えるという目的は変わっておらず、かつ、施設から変更も、改造もないということを前提に、ここはBさんでカウントしようということで整理をさせていただきました。
0:26:10	はい。規制庁谷です。なんで誘導と非常灯とかも一緒ですけど、新規に設置するものとか
0:26:16	例えば緊対所とかだったら多分別になってしまったりすると思うんですけどそういうものとかに関してはそっちの条文で見ると何でここ意識ここみたいな感じになってるけど、一応、例えば構内接地網とかそれぞれの設備の場合分けはあると思っておけばいいんですかね。
0:26:31	はい、乳井西田でございますサイバー駅がありますということでおっしゃっていただいて、そういうことが言わないようにとかのところにも、あの日以下にも、落雷の対象設備Hでちょっと書くなりして、この設置も全部読むんじゃないんだよということがわかるように、
0:26:47	させていただきたいと思います一応審査会合に出した参考資料の中では、分けて分類は、他の誘導灯とか異常とそうですけど蓄電池内蔵型のやつはに入ったりと、

0:26:58	ということがありましたのでそういうこともつけた上で、迷わないようにということで配慮させていただきたいと思います。以上です。
0:27:08	はい。規制庁の田尻です今後各条文の方ができたタイミングでそれぞれ見ていく形にはなると思ってるんですけど現場で作業を今後されるんだと思うんで、そのタイミングで認識がずれないように作業いただければと思うんでよろしくをお願いします。自分からは以上です。
0:27:27	古作です。あとそうしまして最後の9ページ。
0:27:32	なんですけど、
0:27:34	これも前からこのページってっていう話をずっとしてましたけど、
0:27:41	と、
0:27:42	あまり具体が見えませんが、
0:27:45	作業としてはどんな感じですか。
0:27:49	はい。リレー社でございますこれを、すいません結紮だったために全部放り込むかったのが、こんなことになって恐縮でございます。はい
0:28:00	カウントのし整理としては今すでに施設共通のところ、どういう設計要件かということばらして、それぞれ関連する設備との紐づけをして、
0:28:11	エースカウントをして、していますのでし始めてますので、当然
0:28:17	毎日のよりも市の中で何回も状況を聞きながら、迷ってないかということも確認した上でやってますけど現状特に何か起こっているということではございません。これも明日以降、この場で何かあったら、お話をさせていただければと思ってました。以上です。
0:28:35	はい、古作です。悩んでないということであれば、蓋を開けてみてということになります、さらに、この後にその説明方針
0:28:45	との繋がりっていうのが前回はあって、
0:28:49	この後の設備概要の話と繋がるようにっていうのを提示されると昨日聞いてたんですけど入ってないんですが、どう話をすればいいんでしょうか。
0:29:03	はい。ニューエネルギー記者でございます先に、いいえって話ですね。結局すみません間に合いませんでした。この後に全部つけることはつけので今採用してます。
0:29:14	各条文ごとにカウントの仕方でも設計方針の関係で、こういう内訳を書かなきゃいけないっていうのも含めて整理をして、全条文作ってやってますそれと、

0:29:26	構造概要の新規だったり変更だったりところが紐づくように、整理をするということで、作業を進めております。
0:29:36	はい。
0:29:37	はいコサクです作業を進めるというよりは、作業をするにあたってこういう方針でいきましょうねっていう基本概念を書いていただきましたかったです。
0:29:47	そうしないと作業がまたばらつくということがあって、なのでアサカイで確認をしたいということだったんですね。
0:29:55	そのあたり作業してますか。
0:30:01	はい。日本原燃車でございます。国会を先に作ってるところがよくないですね。はい。基本概念作って、
0:30:09	明日でも話をさせていただきますずれそうな気もしないでもないですし、
0:30:14	私の懸念が当たらなきゃいいんですけど、はい。概念として個別のものを作る時に当然こういうふうに整理をして、最終的に紐付けていくんだよというのは、
0:30:25	ホワイトボードを使いながら私が縷々説明をして、やりとりをしておりますのでそういったものを具現化して、多分方針としてお見せするというところで、私がずれたら全部ずれるんで、
0:30:38	そこも含めてこの場でやらせていただければと思います以上です。
0:30:43	はい、古作です。分類の中既認可でやった評価について、とかっていうような話で大分そのエッセンスは入っているはずなので、
0:30:54	分類で何を、
0:30:57	したかったのかと、いうことを踏まえてまとめてもらえればと思います。よろしくをお願いします。
0:31:03	もう 30 分過ぎてしまったので、次の話題にいてもよろしいですかね。
0:31:09	はい。現年次の設備概要。
0:31:15	はい。乳井西田でございます。設備概要につきましてはすいません。今日早いうちというのがある方。
0:31:23	9 共有時ぐらいままでに資料を出させていただきますそれでしたの。それも方向性なり何なりの、

0:31:33	お話をさせていただければと思いますこれを作る前に持ってこいって話 ですので、だと思えますけどもすいませんその状況でございます。
0:31:44	現状と合わせて、
0:31:48	出すのが、新規屋外の新規設備、溢水、
0:31:55	あとは、
0:31:57	重大事故ですね、のパートでただ資料としては全体像で何をそこに放り 込むのかというのがわかるようにした上で、考え方も頭にした上で、 それぞれと関係するものを、
0:32:08	決定の資料として、まずはパッケージさせていただこうと思ってまし た。以上です。
0:32:19	規制庁コサクです。ちょっと、
0:32:23	頭の整理ですけど、
0:32:25	屋外新規溢水、S Aと言われたんですけど、
0:32:33	屋外新規というのは何ぞやっていうと結局飛来物防護ネットD、外部事 象の竜巻、
0:32:40	メインにっていう、
0:32:42	ことのような気がしますけどその理解でいいですか。
0:32:48	はい。人間のイシハラでございます。配備は竜巻になります。ただ関連 条文も含めた上で書いてますので竜巻メインですけども、耐震も含め たエリアの条文との紐づけをしているということです。あと
0:33:03	言ってみれば、移設した新規の冷却東北の中において、整理をしようと思 ってますがそれも竜巻の防護対象ではあるので、その辺も含めた上での 示し方になると思ってます。以上です。
0:33:16	はい。工作です条文の関係性があって、
0:33:21	条文単品でっていうのもなくて、ある程度まとめて関連性を説明して もらわなきゃいけないっていうことはありますけど。
0:33:30	あとはその説明方針は条文ごとと言われているので、どの趣旨での説明 なのか、メインがこの条文、
0:33:40	関連条文としてこういうのも合わせてと。
0:33:43	いうことは明確にさせていただいた方がいいかなと思います。で、冷却塔 という意味だと閉じ込めの条文もあるということと理解をしますけど そのあたり大丈夫ですか。

0:33:56	はい。乳井西垣条文としては、紐づけて、整理をしております。特に冷却も当然閉じ込めですし、あとボンネット側も、
0:34:09	冷却塔自体への悪影響というか冷却性の影響という意味でいくと、閉じ込めが関係しますのでそういうのを、ちゃんとピックアップした上で、その設計とのリンクを整理をするということをさせていただきました。以上です。
0:34:23	はい。
0:34:26	前回会合で
0:34:29	作ったフォーマットの形からすると、各条整理をされそのうちどこの説明をしているのかと。
0:34:37	ということがあるので、基本竜巻だと思ってますけど、それ以外の関連条文についてどういうふうに、説明した形にスルーのかどうかと。
0:34:48	いうことの考えは次回資料提示の時に議論したいと思いますのでよろしくをお願いします。
0:34:57	はい、弓削西田でございます承知しました。
0:35:01	コサクですその上で外部事象、
0:35:05	はそういうところで例示ということにとりあえずなると思ってて、今後そのレンジじゃなくて、一式をどういうふうに0なんだろう。
0:35:15	一色が説明できたとする。例示の、
0:35:22	程度感。
0:35:23	ていうのを、話ができればと思うんですけどそれはいつぐらいになりそうですか。
0:35:42	はい。日本イシハラでございます。それも、その件については血をたたきながらお前がちゃんとキャッチアップせいという話になるとは思いながらもまだ、
0:35:52	完全に状況が、私も把握できておりません。今週中にはまとめたいという思いはそうなっているのかどうかも、把握できてないのが恐縮でございます明日にはその説明ができるように、
0:36:06	させていただきますと思います。以上です。
0:36:09	はい。補足です。それがないと当面の審査会合戦略すら立てられないので、よろしくをお願いします。
0:36:18	で、

0:36:19	その内数になるんですけど、次溢水と言われていたのは何で溢水なんだというところ火災はとか、
0:36:30	薬品はとかっていうことになるんですけど、
0:36:33	それもとりあえずレンジとしてっていうこ等であればそれ以外はどうやっていくのっていうことにもなるんですけど、何かお考えありますか。
0:36:44	はい。乳井西田でございます。はい。葛西も含めて作らないといけないという認識がありますし今日お出しするやつにも、その項目をピックアップして、こういうのは今後入れますということで、
0:36:56	示させていただこうと思ってます。笠井自体も、資料は、当然ながら並行して今つくらせておりますので、それも、明日の時点でいつそれを出せるんだということは先ほどの新規の竜巻とかの関連、
0:37:10	設備とあわせて、今、数字になってるものはいつ出せるのかっていうスケジュール化なり方向性をご説明できるようにさせていただきます。以上です。
0:37:20	はい。コサクです。先ほどと同じなのでよろしく申し上げます。私の理解としてワー、溢水は1制限年な設備の耐震補強という論点があって、火災は淡々と、
0:37:36	耐震計算をするということなんだと。
0:37:39	補強してるものもあるんですけど、
0:37:42	通常の対応をとってればいいというようなことなので、どの設備を
0:37:48	耐震見なきゃいけないのかっていうことで、1台、
0:37:53	一つプロセスが、
0:37:54	追加されてると、というようなことで先行してやるということかなと理解をしています。
0:38:03	その点妥当。
0:38:05	薬品も似たような話があるはずで、しかも
0:38:11	1線よりも、限定をして対応してるので、後送りをするのもどうかなという気はするんですけどいかがでしょう。
0:38:26	はい。日本原燃石田でございます以前から、
0:38:30	溢水の対策設備であったり、水源側の方を評価、耐震評価ですね、の対象であったりということについて、水だけなのかっていうところを整理をしなければいけないという話も、

0:38:43	あったのは認識をしておりますので、化学薬品も溢水と、遅れずに、出させて いただいて、それを合わせて、その設備の、
0:38:54	義務づけという意味で、議論ができるようにさせていただきたいと思 います。以上です。
0:39:01	はい、古作ですよろしくお願いします。で、S Aについてわあ、まず、
0:39:09	常設可搬
0:39:11	幾つかのその類型に応じて説明いただいたらいいかなと思うんですけ ど。
0:39:16	いずれにしてもう外部事象内部事象をどう防護設計するのかと。
0:39:22	いうそのDBと同じ観点での対応についての説明というのもあって、
0:39:28	そのあたりをどうまとめていくのかがポイントかなと思うんですけど、 現状どうなってますか。
0:39:35	はい。乳井瀬谷でございますはい。今おっしゃっていた常設可搬である 種、グルーピングしながらということは念頭にございました。今作って るのが確か常設のグループのやつで、
0:39:49	こういう形でということでまとめ方をしようということで考えている と、あとはその中では要求事項の中には当然外部賞であったり対して、
0:40:01	機能喪失機能、有効に機能喪失しないということが設計条件にあるのも 踏まえた上で整理をして、どういう説明を、構造なのか、どういう設計 をしてるのかっていうのが、
0:40:11	その中に示せるように、今、整理をさせていただいているところでござ います。以上です。
0:40:19	古作です。
0:40:21	ちょ、
0:40:22	等、考えはされてるんだと思うんですけど、完成イメージとして、
0:40:29	そのDBの説明とどう繋がってくるのかっていうのが伝わってこなかっ たんですね、溢水の有井。
0:40:38	防護設計ってのは基本一緒であって、結局その耐震に持ってくときは、 1.2S s、S sそれぞれ、
0:40:48	一緒だったらもう1.2S sやっちゃえばいいし、という古藤だったりす るので、一体で見えていかなきゃいけないと思ってますから、説明書とし ても、

0:41:01	S Aの十字の資料から、DBの点プーと抱き合わせにして対応されるということからすると、
0:41:11	会合での説明も一体としてやっていただく必要があろうかなと思いますので、
0:41:17	そのあたりの引き継ぎの仕方というところで次回の資料を見させていただければと思っています。
0:41:32	コサクですけど原燃理解しました。
0:41:36	はい、峰岸でございますはい。そういう整理すると言ったのもこちらですし、はい、理解しておりますので、それがわかるように、整理をして、お話をしたいと思います以上です。
0:41:53	はい。規制庁側から、この時点で確認しておきたいこと、他にありますか。
0:42:08	受ける。
0:42:10	田尻さん何かないですか。
0:42:12	大丈夫。
0:42:15	はい田尻です。とりあえず今日出てくる資料っていうのが何か、どこまでの方が出てくるのか説明聞いててもちょっとわかりづらいところがあって、何かまず代表例で、溢水とか示すって言って後でも薬品も溢水と並んで、
0:42:33	目を今日資料出されるということなんでそれを見たいかなと思います。
0:42:40	はい。補足です。
0:42:43	ヒアリング資料としてはそれでいいんですけど会合資料ってどうされるんだったっけ。それも今日ですか。
0:43:04	日本原燃藤尾です。今日ちょっと提示し、するつもりで、資料を準備してたんですけど今のやりとりとかも踏まえて少し、
0:43:12	いやいや、藤野さん、コサクですけど、何言ってるかわからないよ、今日の議論を踏まえたら今日絶対出さなきゃ駄目だなんていうことにしかならなくて、
0:43:24	構成が、
0:43:26	データ作りしました私しないと駄目。
0:43:30	はい。今日、
0:43:32	いいですか。今、準備してるものでお話できればと思っています。よろしくお願いします。コサクですけど今準備してるもの。

0:43:41	でも、いいですけどだったら今移してやろうよっていうことだし、今の話で最低限こう直して議論したいということであれば、最低限の直しして明日やるということかもしれないし、
0:43:53	今あるんだったら移してやりましょうよ。
0:43:58	でどう直しつもりか話したら早いじゃないですか。
0:44:04	日本原燃佐藤です。すみませんちょっと考えてる資料が、今日の議論を踏まえるとちょっと話をするにしてもちょっとまだ全然そのシバタでないのすみませんちょっと今日の議論を反映したやつを今日中にちょっとお出しして、明日ちょっとお話しさせていただきたいというふうに思います。
0:44:22	コサクです本当わあ、そんなこと言わずに移せていう感じではあるんですけど、今日は許しますから、次回からはそんなこと言わずに、正直に、
0:44:33	表に出して話しようよという感覚になってもらわないと、タイムリーな対応とれませんのでよろしくお願いします。
0:44:42	はい。あ、失礼しました。
0:44:47	規制庁の谷です。一見わからなかったんですけど今会合資料を今日示して、会合資料のヒアリングも明日やってしまうっていう、主やりますって話をされたのか浅野ヒアリングのところで少し話をするって言われたのか今のはどういう意図でしたっけ。
0:45:02	日本原燃の藤です
0:45:04	ちょっと今話聞いて、迷ってましたもともと木曜日の午後にヒアリングやろうっていう話もして行ったんですけど、明日の朝、1度
0:45:15	所蔵端部というか少し頭出ししてっていう感じですかね。
0:45:21	規制庁と2、今日何が出てくるのかによるんですけど、方向性を整理したっちゃうのは別に明日やりゃいいですし、何かしっかりした資料でもはやちゃんと組んだもので、ヒアリングしたいっていうんだったら、
0:45:32	何かそういう対応になる日、今、今日示すのって何が出てくんでしたっけ。
0:45:37	前者に近いと思いますので、ちょっとまず方向性明日の確認させていただければと思います。藤間です。
0:45:45	規制庁館ですなんて整理していく上での相談についての資料みたいのが今日出てきて明日朝方向性を確認して、その日のうち速やかに会合資料

	の案が出てきて、木曜日でしたっけどどこにヒアリングは今の現在のイメージ
0:46:02	はい。それであります。します。
0:46:05	規制庁谷井です。状況はわかりました。
0:46:12	はい、古作です。圧倒、ここまでのっていいのはいいですかね。
0:46:18	実は次、原燃。
0:46:20	次の話題お願いします。
0:46:31	はい、二本木西田でございます。あと
0:46:34	えんじII体ってか以前から話にあった葛西と一世をどういうふうに話をしていくのかについては、それぞれの観点であったりこういう部分での共通性を持って説明をしていくということと、
0:46:51	あとどの資料でということとそのスケジュール感、今日資料をお出ししていきたいと思ってます。
0:46:57	それをもとにまたお話をさせていただければと思ってました。これも明日はその話題にさせていただければと思います。以上です。
0:47:11	規制庁の田尻です。今のお話で今日なんか出てくるという話ですか。それとも今原燃で昨日ぐらいから清流の相談をしているんだけど今まだ話せるレベルになくて、明日の朝まで待ってくださって言われたただけですかね。
0:47:24	資料が何かです。企業、今日の時点で資料1からお出ししたいと思えます。それぞれの観点と、共通性であったりというポイントというのと、
0:47:37	どの資料を使ってということとそのスケジュール感というものを、今日お出しをして、明日の朝、お話をさせていただければと思ってました。以上です。
0:47:47	はい。規制庁鳥居です。わかりました。ちなみにどれぐらいのタイミングで出てくるんですかね。これも夕方ですかね。
0:47:54	はい。与儀石田でございます。
0:47:59	今の時点で手元にあるのもうちょっと上級情報を使わして欲しいというところがあるので、付加した上で、幼児とは言わず、午後、
0:48:12	1時か2時前かぐらいにはさせていただいて、じゃないと朝っていうわけにもいかないと思うので、そういうタイミングでどう思っていました。以上です。

0:48:24	はい規制庁の時です。何か他の資料が夕方とかだったんでまあだんだんともいいんで、出せるやつ出してきてもらった方が見やすいかなと思うんでよろしくお願いします。
0:48:39	はい。右のイシハラでございますあとおすいません時間も大分、進んでいるので、あと、こちらから破らなきゃいけないか、あかんでS Aの観点ですけども、S Aの
0:48:52	00 資料であったり相関図を、今日お出しをして、ヒアリングをセッティング、今後させていただいてという話をさせていただきました。
0:49:04	相関図であったりの見直しであったり、それぞれの添付間のひもづけというのは整理をしてお出しをするのと、あと本文8号とか、添付8の取り組みのところの整理、全体というよりもこういう方向性でやりたいということ、
0:49:22	蒸発乾固と水素を例にして資料をお出しして、というのは今日やらしていき、お出しをしたいと思ってました。
0:49:30	その中で一緒に出すとお話をした水供給なんですけども、ちょっとすいません私をもっと早く見ていればよかったんですけど、昨日の時点で見えてまだ方向性ずれてるというか点、
0:49:42	本文のところに書かなきゃいけないことを、添付側で紐付けなきゃいけないことの整理が十分できてないと、いうこともあったので、これも今日お話しをして、昨日から話してるんですけども今日の中で一つ一つ噛み砕いてやりとりをして、
0:49:59	こういうふうにして欲しいということでやった上で、できれば明日提出ぐらいで、ちょっと1遅れちゃいますけど、作業をさせていただいて二次救急の方を付け、やらせていただくと。
0:50:10	ということのす、スケジュール感でやらせていただければと思います。
0:50:16	こうなってしまった原因は多分前回以前ヒアリングで、3 条文、資料を出しますと言った以降に、ちゃんと私の方でもちょっとハウリングをして、
0:50:27	困ってることないかとかちゃんとできてるのかっていうのをチェックすればよかったんですけど、ちょっとバタバタになってしまいました。今後方向性をちゃんとまず決めて作業するとかですね、そういうことを、
0:50:38	ちょうどタイムリーにやっていくということとさせていただきますたいと思います。以上です。

0:50:46	規制庁の藤原です。
0:50:48	今水供給の分は明日って話だ。
0:50:53	とあと反省点というふうな話も少し述べられたかと思うんですけど、そもそも最近ずっとこういうふうに入力でこけないようにって話をしている中で、
0:51:03	今回先週の中でも結構、もうその3条文出しますよみたいな話がどんどん出てきていて、衛藤少なくともその3条文の担当者の認識はずれてないかみたいな確認って、
0:51:15	作業にももちろん入る前にしておくべきだったんじゃないかなと思うんですけど、コンマ江藤もう今の時点でなってしまったので今回は言えないんですけど、今後はちゃんと、
0:51:27	資料を作成する前の段階で、認識が合ってるのかみたいなところはされるっていうことでいいですか。
0:51:36	はい。与儀西田でございますはい。こちらでしっかりとイニシアチブ取って、作業入る前に、認識がまちまちじゃないかとかちゃんと認識合ってるかということを確認した上で、作業に入る。
0:51:50	作業の状況は逐次、確認をしながら方向がずれて何かちょっとチェックをするということ、衛星に関しても、やらしていただくということで考えてございます。以上です。
0:52:03	規制庁の藤村です。わかりました。で、水供給はしたということなんですけど、今回入れるような内容ってそんなに手間がかかるような話ではなかったりきちんと。
0:52:14	整理してっていう状況よりはこういう方向性で入れ込もうと思ってるってような状況でも確認できたらと思うんですけど、今日提出も無理ですか。
0:52:28	はい。野木西原でございます。
0:52:33	おっしゃっていただいているタイミング本日提出ということでまずは目指します。おっしゃっていただいたようにすべてをとというよりも、
0:52:44	こういうところを整理しないといけない反映しないといけないというポイントは当然ながらも決まっていますので、その、今例示なり何なりの形でも、整理をし方というのがお示しできるように、
0:52:58	資料作ってお出しをしたいと思います。

0:53:01	Gまでになるかどうかは、若干心が痛んでますけど、はい。なるべく早く出します。はい。
0:53:12	規制庁の藤丸ですよろしくお願いします。
0:53:19	十時。
0:53:22	なあ。もう昨日、
0:53:25	それを相関図って話だったんだ。規制庁の藤原です。先ほどの話の中では脇息杏提出みたいな話もあったんですけど、昨日 10 時 17 が出てきていると思ってるんですけど、
0:53:36	失礼しました。はい。はい。
0:53:39	なので昨日提出のものと一緒に、0 資料とともに、今後ヒアリングしたいってことでいいんですよね。はい。
0:53:46	はい。宮城西田でございます。はい。失礼しましたおっしゃっていただいている通りでございます。
0:53:51	規制庁の藤尾です。それで、結構ヒアリングとか予定が入りつつある中で、
0:53:58	昨日かお話した中でもう水曜日も及びあたりみたいな話もあったんですけど、
0:54:05	いつぐらいを思われているのか。
0:54:09	希望ありますか。
0:54:26	規制庁フジワラない。長瀬。はい。また訓練ご連絡しますなるべく早めにやりたいのは事実です。はい。なのでそういう意味では全体を見ながら、可能な限り早く、
0:54:40	提供火曜日で水曜日ただけていけないので、木曜日の日付も含めて他で入っているものの優先順位も含めて整理をして、
0:54:49	エントリーさせていただきます以上です。
0:54:51	規制庁の橋村ですよろしくお願いします。
0:54:54	規制庁コサクです。今十時 17 の話で、次のヒアリングで話をするということでしたけど、前か話をした古藤がまだテンプレ間の矢印が向きが、
0:55:08	直ってないところがいくつかあって、おそらく言わないと認識が変わらないんでしょうけど、
0:55:17	その点よく、
0:55:19	どこで何を呼び込むのかというのは具体イメージを持って、ヒアリングに臨んでいただければと思います。

0:55:27	はい、乳井西田でございます。はい。ちょっと私もしっかり見てというのはさっき言っただろうって話なのでもう一度確認をさせていただいて議論できるようにさせていただきます。以上です。
0:55:47	補足です他ありますか。
0:55:57	経産省見直したいなのは次のフェーズなんでしたかね、カミデつ次だと思って、まずは、本来、
0:56:05	というか、そこ悩み相談的なところ、
0:56:08	お金、
0:56:14	規制庁カミデツガネほか、特に話題なしですか。
0:56:19	はい、乳井西田でございます。あと最後、地盤のスケジュール感の話をさせていただければと思います。以上です。
0:56:28	はい、じゃあ本当でしょう。
0:56:32	峰トガシです。こちらの金曜日の日ヒアリングさしていただきまして、そちらの方の内容を踏まえてですね今値解析の試算といたところを順次進めているといったところの状況でございます。
0:56:45	こちらの方の状況につきましては、やはりすべての解析が終わるといったところではなくてですねちょっと順次、我々のやっている内容の方向性といったところが、間違っていないかといったところをですねちょっとご報告にさせていただきながら進めさせていただきたいというふうに考えてるところでございます。
0:57:01	つきましてはちょっと週末かけてですね試算でまわしている部分もございまして、この部分の解析を速報的な位置付けになってちょっと画面等という形になってしまうかと思うんですけども、
0:57:13	こちらの方早い段階といったところで、あすかば、そのあたりですね、
0:57:20	今日明日、
0:57:22	のところですねご説明させていただければありがたいなと思って思っているところでございます。
0:57:29	はい。規制庁上出です。
0:57:32	何ていうか、結果はあれなんだろうけど、やってる方向性が、お話をしたことと、合ってるのかどうかっていう確認という意味で、
0:57:42	話をするっていうことだと思いますが、今日にしますか、したりしますか、どうしますか。

0:57:48	日本原燃富樫でございます。できましたら今日、もし午後等ですお時間いただけるようであれば、その部分ですおその方向性といったところをご説明させていただきたいなというふうに思ってるところでございます。
0:58:01	はい、規制庁カミデスわかりましたという形になると思いますけどせ。
0:58:06	するようにします。
0:58:07	ちなみに何建屋分ぐらい進捗がありますか。
0:58:13	はい。日本原燃土橋でございます。今実施しておりますのがこの間の資料の建屋群というところで建屋目としましては、A B系、あと、ワンとあと
0:58:24	A C建屋、こちらの方の建屋の方を、今津島かけて実施したという状況でございます。
0:58:31	はい。規制庁菅です。ヒアリングの時にも話してますけど、
0:58:36	先週の火曜日が、ヒアリングをした時には、離れたところで一つ、たしかない。
0:58:46	ところぼつんとあるようなところも、
0:58:50	見た方がいいんじゃないかという話で、そちらも、
0:58:55	そういう形で進めると言ってたこと等、今言われたことが、整合しないんですけど、どうなってるんですか。
0:59:06	はい。日本への飛ばしでございます。作業の進め方のところで、今ぼつんとというようなお話もあったんですけども、ちょっと我々として少し主要建屋部分といったところをですお確認しておきたいっていったところがちょっと社内の
0:59:21	ところですいませんを調整した結果として、はい、古作です。社内の調整はどうでもいいですトガシさんがリーダーじゃないんですか。
0:59:30	リーダーがヒアリングでこうしますという話を整理したのに、社内の変更があったその変更を連絡してこないと。
0:59:39	いうのはどういうマネジメントなんですか。
0:59:46	排尿目通してございます。昨日、あの日あったにもかかわらずとその分ご連絡っていったところで、足りてなかったのは、大変申し訳ございませんでした。はい。そのマネジメントというのが足りていなかったといったところは
0:59:59	反省して次からしっかり対応していきたいというふうに思います。

1:00:04	規制庁、カミデです。今はやりましたって言ってますが他は今、作業中のところっていうのはどの辺やってるんですか。
1:00:17	はい日本への投資でございます。その部分につきましては今さっきこないだお話あったC B建屋とか、C A建屋とかそういったところの建屋で1だボーリング孔が一つっていったところですね。
1:00:30	中心を攻めているといったところでございます。
1:00:34	はい。規制庁管です。あれ、いいとかやるって言ってませんでしたっけ。違いましたっけ。
1:00:42	Aはちょっとあれでしたっけ。クラスーイから次Cで、
1:00:49	規制庁ヶ月ちょっといずれにしても、ちょっとだけ、今日ヒアリングするかっていうと、かなり無駄な感じがするので、それも含めてやるかどうか含めて、またすいませんコサクです。
1:01:05	やりましょう。だけど、まず今の話。
1:01:09	同前角田って複数立である中で、どういうふうに進めていく。
1:01:15	進めているのか、進めていくつもりなのか、どうすべきなのかと。
1:01:20	ということの話ができるようにしてください。
1:01:23	加えて、
1:01:28	どうやってるのか、先ほどのその方針変更がなぜ起きたのか。
1:01:32	その趣旨は、
1:01:34	体制はどうなのか、誰が何やってるのか。
1:01:39	いうところも詰め高にするようにしてください。
1:01:46	はい、小板橋でございます。今コサクさんからお話あったところ、
1:01:51	午後のヒアリングでご説明できるようにしたいというふうに思います。
1:01:54	はい。補足です。それがまずないと。
1:01:57	今後どうしていけばいいのかがこちらがわからないんで、
1:02:02	それを踏まえて、す。先ほど上出が言ったようにこれとこれを見るとこういう議論ができるねと。
1:02:08	いうことになってくるのかなと思います。まだそこまでたどり着いてないような気がしますのでよろしく申し上げます。
1:02:18	はい、米沢でございます旅行いたしました伊勢ハバサキです。
1:02:23	については今日午後お聞きしますけれども、ということで合わせると思うんですけども、先日のヒアリングで行った表層の扱い、それから鷹架層の動特性の扱い、これは今どういう、

1:02:36	条件での検討ややられてるんですか。
1:02:43	はい。土橋でございます。まず表層部分の取り扱いに関しましては、こちらの建屋の近傍にある部分の表層の物性といったところで与えているといったところでございますこの間お話しさせていただいている施設共通の値ではなくて、
1:02:58	カッコ別のボーリング孔の値を設定しているという状況でございます。
1:03:02	また動特性の部分取り扱いに関しましてはひずみ依存特性として剛性低下といったところを考慮したものになってございます。
1:03:10	あと、こちらの少し午後の部分でも議論させていただきたいと思っておりますけども原水部分の取り扱いに関しましては一部、材料牽制をそのまま実施するのがいいのかってところとやはり減衰に関しましては、淘汰的な扱いになって参りますので、
1:03:26	ある意味、
1:03:28	既往のその3%といったところをある程度下限設定して、その上でひずみ依存性を見るといったようなところもちょっと出向者でございますので、この部分に関しましてはその内容に関しましてご説明したいというふうに思っております。以上です。
1:03:42	生きてハバサキですあの説明理解しましたMOXと基本的には同条件で、解析をやってるということで、今言われたような話については午後じゃ議論したいと思います。以上です。
1:03:55	はい、規制庁ヶ月僕ありますか。
1:03:59	個人的には競争大変だったらFAでも1回出してる感じもしますけど。了解しました。
1:04:06	加来になれば、
1:04:10	今、メサ今日ずっと今日出したって目先の話をしてたんですけど、もうちょっとですね、
1:04:21	じゃあ来週何やるか、例えばその耐震だと、変更点の一覧の資料だとかも欲しいなと前から話をしてましたし、悪影響の資料とかもう1ポツだったりそれの手前の話として、
1:04:35	ありますよねという話をされていて、それをスケジュールを組みますという話を先週とかもうちょっと前まではしていたんです。で、今の断面だと、もう、
1:04:47	すごい目先の話しかないんですけど、もう少し

1:04:52	1週間対2週間単位の戦略みたいになって、県で今考えてます。
1:05:08	はい、宮城西田でございます。はい。考えているかというのについては、すいませんそこまで手が回ってないというのが現状です。それじゃ駄目だろうというのは十分わかってます。
1:05:20	ただおっしゃって、今日の朝でも、順番に、それぞれの項目お話をさせていただいてました。今ある一つ一つを片付けるように、
1:05:30	私全部忙殺されてですね、今ある前提で、この1ヶ月どうするんだみたいなスケジュールを作るまでに行けてないのが現状でございます。それじゃ駄目なのもわかってます。
1:05:43	耐震しかり、他の条文しかり、今作ってるものが終わったらじゃあ次何やってやんなきゃいけないくて、それにいつ着手して、どういう紐づけでやっていくんだという、
1:05:55	スケジュールがないと、今作ってるやつたま終わったら、じゃあそれから考えますかではないのもわかってますのでちょっとそれも考えます。ちょっと時間を作ってでも考えますので、それがご説明できるように、
1:06:15	今週早い段階ってもう火曜日ですけど明日明後日にはそれができないと来週何やるんですかの話は、結局決着つかないので、それをさせていただけるように、この朝日でもそれ出して、
1:06:27	の綺麗な資料でなくてもですね、大枠こういうことで、順番、やっていきたいんだということをパーツを、を一つ先言いなりを見据えて話をさせていただけるようにしたいと思います。以上です。
1:06:40	規制庁、五味です。早めにスケジュールを示すということではなくてもいいんですけど、まず
1:06:48	会合が今タイプ、ターゲットになっていて、はい。会合終わりました作動しましょうかっていう状態にはならないでくださいっていうのは石川さんの言った通りです。
1:06:57	で、一番大事なまずは会合に向けて何をしなきゃいけないのかっていうのはちゃんと組まなくちゃいけないし、その中でここまで進めばもうちょっと先の話もできるようになるねと。
1:07:10	いうところもイメージしていただいてですね、順番につぶし米潰し込んでいければと思いますので、ちょっと先のことも頭に入れながら、あとはその会合までのスケジュールってのは、

1:07:23	具体的にちゃんと立体的に描いてですね、我々と共有できるようにということで進めてください。
1:07:33	はい、乳井石原でございます承知しました。
1:07:36	古作です。今の話はですね、前から話あると思うんですけど、審査会合で1ポツ2-1、2-2といっている中で、
1:07:49	今どこの説明なのか、次どこの説明をしたいのか、その次はどうなのかということを確認に
1:07:58	マッピングできるようになっていると思いますので、その中で、
1:08:03	この昆1ポツで何を説明しなきゃいけないのか、2-1で何を説明しなきゃいけないのかっていうのを、認識しといていただければおのずと数明確になってくるものだと思いますので、
1:08:15	明日7日、明後日のヒアリングでは、少なくとも明確にしてもらうということだと思いますけど、よろしく申し上げます。
1:08:25	はい。人間の石田でございます承知いたしました。
1:08:32	古作です。
1:08:33	江藤左脳ヒアリングとしては、
1:08:41	全般としては、一区切りとして、耐震の計算書の話に移るということでもいいですか。
1:08:51	はい、須田でございます。はい。よろしく申し上げます。
1:09:00	規制庁の竹田です。メンバーの入れ替えとかはもう、大丈夫ですか。
1:09:06	はい。与儀西田でございますはい。
1:09:09	必要なメンバーもすでにこの場におりますので、このままスタートしていただいて結構でございます。
1:09:14	はい、わかりました。規制庁竹田です。それから懸念の方から、2月3日あった資料について、時間もあれですので、ポイントになる部分だけでも説明いただければと思いますよろしく申し上げます。
1:09:29	日本原燃の越野です。
1:09:33	2月3日に提出しました規制対応についてご説明いたします。
1:09:38	まずですね資料の2ページの方ですけども、
1:09:42	こちらの方に修正内容とですね、修正先をまとめた表を示しております。
1:09:47	詳しくは説明を割愛させていただきます。
1:09:51	次ですね3ページですね。

1:09:55	前回のヒアリングで計算書のページ似たようなページがいっぱいあって、どこを見ているかよくわからないというご指摘をいただきました。
1:10:04	で、ヘッダーをですね、Webイメージをこの3ページの方に記載させていただきます。
1:10:11	次19ページですね。
1:10:17	補足です。すみませんこちらで資料を見ているんですけど、
1:10:23	できれば画面にも出していただければと思います。
1:10:29	お待ちください。
1:10:31	説明は続けておいてもらっていいですけど。
1:10:35	はい、承知しました。日本原燃の星野です。
1:10:38	19ページの方ですけども、こちらは定式化のフォーマットにおいてこの斜線をできるだけ減らそうということで、評価部位を踏まえてですね使用する計算式を組み合わせで類似するものを集めて、26個の組み合わせに、
1:10:54	分けました。それをフォーマットとするようにして作成しております。
1:11:00	この場合ですね計算書の構成、順番ですけども、それを55ページ。
1:11:07	の方に目次で示しておりますが、
1:11:13	各設計条件と、
1:11:17	機器要目結論ですね、ここがその26にわかれたものを、順番がですね、あまり離れ、離れずにですね見やすくなるようにということで、
1:11:28	順番としてはこの目次に書いてるように並べるように考えております。
1:11:33	次83ページ。
1:11:41	こちらはFPMの概要図になりますけども、かよずにですね、
1:11:50	寸法の方の記載ということで、外径がわかるように、高さや幅ですね、あとは主要な寸法として肉厚、あと耐震上で特化するような内容としてはポイントピッチを移しすることで考えております。
1:12:06	あと86ページなんですけども、ここ、ちょっと訂正はありまして、解析のモデル図を示しておるんですが、これ冷却ぼいるになりますけども、
1:12:18	冷却ボルトをなす。
1:12:21	上に黒丸がいっぱい並んでるかと思うんですけども、これ支持構造物と冷却ぼいるのを、その接続点のところに、拘束条件ということで

1:12:32	ッキングをかけたんですけども、ここは実際に溶接で接合していますので、拘束条件というよりは解析モデル上は結合としてモデル化していますので、この
1:12:43	ちょっと車だけ拘束点ではありませんので、訂正してお詫びいたします。
1:12:50	駆け足でしたが説明は以上になります。
1:12:54	規制庁竹田です。ありがとうございます。では規制庁側から確認等あればお願いします。
1:13:01	規制庁カミデです。頭から行こうと思ったんですけど説明の流れで一番最後の 84 ページ。
1:13:09	ですけど、今図示されてるところが、
1:13:14	いらなくなるっていうことですかそうすると、その建物等、容器の拘束条件っていうのがなくなっちゃうんですけど、何か説明が違ってるような気がします。
1:13:28	いかがですか。
1:13:32	辨野芳野です。すいません。まず、ページ番号はは 86 でよかったですか。84 ページでしょうか。
1:13:40	規制庁から 180。
1:13:42	今 84 ページの話をしたんですけど説明はあれですか。86 ページでしたか。
1:13:48	はい。それで、
1:13:53	はい。日本原燃星野です訂正の説明をさせていただいたのは 86 ページでした。
1:14:00	はい。
1:14:01	藤規制庁カミデです。これはあれですね、冷却コイル等支持構造物の接合が、
1:14:08	溶接だから黒丸いりませんっていうことですか。
1:14:16	はい。日本原燃星野です。そう。おっしゃっていただいた通りでして解析以上は、すいません、日本原燃さんです。ちょっと話、まじっちゃいました。
1:14:28	今のその支持構造物とコイルっていうところ、そこは、実機としては溶接してますってのがまず一つ話し合います。解析モデル上の設定っていうところで、溶接してるから、じゃあそれを固定提示するとか、

1:14:42	PCにするのかっていう話ではなくて、そこのモデルとしては、支持構造物とコイルってところの要素をつなぎ込んで5結合でやってますってところで、
1:14:55	支持点にはしてないですよって話が、後者の話で、前者の話が実機に対する話、後者の話がモデルに対する話ってことでちょっと越智さんの話まじってました。以上です。
1:15:06	規制庁かベース、実態上は
1:15:11	こういうと支持構造物っていうのは、
1:15:17	溶接で、支持構造物がこれ簡単にくっついてるんですよ。これ下の中に入ってるから、簡単なうちべら2溶接しちゃうってことだと思うんですけど。
1:15:29	ものはそういうものだとして、解析モデル図で示す。
1:15:34	示し方として現状をどう示したいと思って、
1:15:39	はい、金米沢です。
1:15:41	この図面の中でですね、諸元としては、この下に拘束条件ということを書かせていただいてまして、ここは先ほど私言いました想定条件とか、次、はい。
1:15:54	支持構造物とこういう接点に黒丸入れなきゃいけないのかっていう話なんで、
1:16:00	入れないです。伊奈入れずに先ほど私申しました郷結合してます与儀大里様等という解説を入れるつもりで考えてました。以上です。
1:16:10	天野。その辺りの構造概要とかに書いてあれば、
1:16:16	とりあえず、
1:16:16	状況は、
1:16:18	わかりましたが当然支持構造物とコイルとの接合の状況だけではなく、支持構造物が歓待とどう繋がってるのかっていうところも含めて概要でちゃんと示してもらえればということなので、よろしく。
1:16:34	古作です。今の点で、
1:16:38	ちょっとマスキングなので、もし松木が必要であれば後で言っていたければと思うんですけど、支持構造物脳、カンタとの接続、
1:16:51	が、
1:16:53	何かよくわからなくてですね。
1:16:55	上からぶら下がってるんですか。

1:17:01	はい。日本原燃沢ですいません、スポーツを少し訂正しとけばよかったです。申し訳ないです。今の日下さんの指摘通り書き足りてないです。デフレ側のところで、まずは支持点取ってますっていうところと、あとの
1:17:14	知事とそこの係が下におりてきたところのパターンのところで、土肥。
1:17:20	そこで日がおりてきたところ、カタノ、その時点とってますっていうところで、パターン部分にもあります。それで容器自体と指示をしてるっていうところで、実際の、すみませんこれ実際の示すつもりだったんですけどそこまで、
1:17:33	間に合ってなくて申し訳ないです。そそういう図面でお示しするってことで考えてございます。以上です。
1:17:38	はい。コサクですその下端部分の扱いがこれだとわからないような気が。
1:17:44	していたので、その説明をしっかりと、先ほどのカミデが言ったように構造概要なり、
1:17:51	設計方針としてですね、見えるように、
1:17:54	構造計画化なり見えるようにしていただければというふうに思います。
1:18:02	はい、梅沢です。はい。今の概要図モデル図っていうところで解析モデル像、どう構成構成されてるのかっていうところのそこのペアになるようにすべて示すことで、
1:18:13	でございますので、今の概要に書く部分というところと、このモデル概要図っていうことをセットで考えていきたいと考えてございます。以上です。
1:18:23	はい、古作ですよろしくお願ひします。ちなみに、その支持構造物から横に針が出ている部分っていうのは、
1:18:33	これも横ずれなんて何通かセンタリング取るような意味合いなのかなっていう気もしますけど。
1:18:41	ここでもあれですよね伝達されるようにしているので、その先端部分は、拘束条件入れてるっていうことですかね。
1:18:53	はい。弓削サガワです。はい。今のご指摘の通りでございます。その通りです。
1:18:58	はい。補足です。そこら辺で
1:19:01	状況がわかるようになればということで

1:19:05	先ほど言われたようにモデル図の前のところが肝だと思えますけど、よろしくをお願いします。
1:19:13	はい、三宅嵯峨です。了解いたしました。
1:19:18	規制庁加茂です。ちょっと頭の方から、まず右下の3ページですけど、ヘッダーをつけましょうということで、
1:19:28	例えば60ページとかに飛ぶと。
1:19:33	今の資料では減ったが、
1:19:36	吹き出しでつぶれているのか、入っていないのかわからないんですけどこういうところにも全部ヘッドが入るっていいんですよね。
1:19:46	年齢ホシノです。そうです。おっしゃっていただいたこともちょっと今聞いてしまってますけどもこういったページにもHeadとして記載する、考えております。
1:19:56	はい。
1:19:57	ちょっと。
1:19:59	あとですね、
1:20:03	ちょっとDBSAの書き分けの考え方をまず整理をしたいなど。
1:20:09	てます。
1:20:13	条件として、
1:20:16	DBSAを書き分けるかっていう話と、あと、結果をDBSA両方書くのかっていう話があって、
1:20:27	まず、
1:20:28	今現状件名は、条件も、
1:20:32	DDS発揮結果のディー・ディー・エスへの枠を設けるってことなんですよね。
1:20:40	日本原燃星野です。
1:20:44	61ページを見ながら、話したいと思いますが、
1:20:52	人中、上の方に括弧で、別の番号がありますけども、26列目と、27列目。
1:21:02	こちらの方はそうですね
1:21:07	SAの条件を、DBの条件の方が超えている場合については、DBの条件だけを記載しようと。
1:21:18	いうふうにしております。
1:21:22	DBの条件をSA条件が超えているときは両方併記しようと。

1:21:28	今それが書かれてるのが、上から
1:21:32	実際の機器のところの上から2行目のところで、そういうふうに記載をさせていただいております。
1:21:41	でこちらの条件の方でして、
1:21:48	この方ですいませんコサクです。13ページ、ごめんなさい。ちょっと入口で教えてください。これ、どれがS A設備かがわからない。
1:21:59	なくなっちゃって、
1:22:00	今言われたその20、
1:22:07	4から29のところでは生条件と書いてあるものをバックAでつつうの。
1:22:14	／になっているのは、
1:22:16	D Bオンリーで、数字が書いてあるのは、D B上限から上乘せになっているもの。
1:22:26	衛星間なのでS A設備だと、バーになっているのが、
1:22:31	S A設備だけど、S Aの条件がD Bの範囲内ですというものっていうことでいいですかね。
1:22:40	日本原燃星野です。今、浅香さんにおっしゃっていただいた通りです。D、D BとS Aが両方かどうかはですね、受(10)中のところ、
1:22:52	見ていただいて、ここに／が入ってるものと常設耐震と書かれてるもので、一応識別できるようにと考えております。
1:23:05	常設耐震
1:23:07	毒性神栖町一応でも二つあって、常設耐震重要とそれ以外があって、それ以外のものの場合も一応あるんじゃないかと思うんで、そうすると、
1:23:19	常設耐震重要ぐらいまでかかる。
1:23:22	表現できないんじゃないかなと思いますけど。
1:23:28	はい、二本木西原でございますはい配慮が足りず、申し訳ございません。ちょっと枠も含めてそこまで書かないと確かおっしゃる通り登場人物としては明確にならないので、
1:23:39	記載をするようにさせていただきます。
1:23:42	はいコサクです。ついでに言うと、これがS Aのその耐震分類なんだというのも表現として、その一番上の項目とかでわかるようにしといた方が、
1:23:53	誤解なく見れるかなというふうに思いますので、そのあたり、表題とし、中で書くことっていうのを、表現ですね。

1:24:04	文言を整理をしておいていただければと思います。
1:24:10	はい。乳井石田でございます。はい。そういったところも配慮させていただきます。
1:24:15	ありがとうございます。
1:24:18	古作です。もう1点だけ条件でS Aのところをバーにするっていうことなんですけど、これ仕様表のところでも同じですか。
1:24:30	はい、日本石田でございますはい今回のこの考え方は使用評定のいわゆる、施設工事のガイドなり、我々が定めている考え方に統一してやらせていただくことにしました。以上です。
1:24:43	規制庁小宮です。仕様表で、バーとかってのあります衛生条件2段にしてS A F E Rです。なあ。いくつかありましたっけ。
1:24:52	両方がバーに。
1:25:00	はいどうぞ。はい。日本原燃保証です。仕様表の方が該当がないときに、バーが書かれてまして、ごめんなさい、古作です。該当がないっていうのがおかしいだろうと思ってて、
1:25:14	条件が一緒っていう古藤該当がないか、意味が違うんですよ。本当にバーなのかなと思って聞いてるんですけど。
1:25:43	少々お待ちください。
1:26:14	与儀仁科です。もし他があればほか進めていただいとその間に私が事実確認します。
1:26:22	課長。はい、じゃあ、規制庁カミデです。
1:26:26	ちょっとその結果は何、何ページ。
1:26:34	結果の方は、
1:26:47	66 ページ。
1:26:49	ですね。
1:26:55	はい、申請書で、
1:26:58	結果も二つ用意をして、
1:27:01	ということなんですけど、もう条件のところ、
1:27:05	我々やらないはわかってるんだから、
1:27:09	要は統合して書きちゃってもいいんじゃないのって思ってるんですけど、何か不都合な何かあります。
1:27:18	日本原燃星野です。

1:27:20	すいません。説明時にちょっと悩みとして、説明すればよかったんですけども、
1:27:26	条件の方で、
1:27:30	温度は、今度は2Bに包絡されてるんだけども圧力はSEが厳しくなっているというようなケースがあるとですね、その条件として一概にと。
1:27:42	どっちかで、厳しいという判断がちょっとつかないところもあって、
1:27:47	そういう相反してるときに、結果を両方提起すべきか、結果だけを見て、SAの値がDBと包絡されていればDBだ。
1:28:00	だけお示しすることでいいかっていうところはちょっと悩んでおりました。
1:28:05	はい。
1:28:05	鳥海です。
1:28:07	だとしたら相反する例を
1:28:09	つけてもらえという話がしやすいんですけど、そういうこともあるだろうなと思って、お話を聞いたんですけど、結局方針のところに、暴力はチャンピオンケースを書きますと、
1:28:22	それがSAだったり、DBだったりするけどそれは何か希望をつけるなり、SAの時はここにつけますぐらいの形で、これはSA条件の結果な理由はそれに従って分かればいいと思ってるんです。
1:28:37	どんどん字が小さくなる方向に、フォーマットがいつているのでちょっと困ってるなっていうところなので、一緒にいいんじゃないかと思う。
1:28:47	はい。日本原燃越田です。
1:28:50	はい。
1:28:51	ありがとうございます。そう、そういった内容で整理していきたいと思えます。
1:28:58	はい。規制庁川満です。その上で条件は、仕様表で両方持ってるっていう今場なのかあれなのかっていうのありますけど、持ってくる先に二つあるっていうことだから、そこ、
1:29:11	に関しては条件のところは両方書いておいても仕方がないのかなっていう気はしますので、
1:29:18	そこはしか致し方ないかな。結果のところだけでも見やすくなればまだマシかなと思いますので、よろしく願います。

1:29:30	はい。日本原燃、星野です。はい、そのように対応して参りたいと思います。
1:29:35	はい、規制庁個別で、等、説明の中でもよくわからなかったのが、19 ページ。
1:29:46	19 ページのこの表が、
1:29:49	何のことやら、
1:29:53	そのあと説明があった、何か目次とかも、この (1) (2) とかで書かれて、
1:30:00	よくわかんなかったんですけど、
1:30:04	何なんですかっていう。
1:30:07	19 ペー
1:30:12	はい。日本原燃、越野です。説明があって申し訳ありません。
1:30:17	19 ページの表はですね、計算書作成の基本方針の中で、計算式をたくさん示させていただいておりますけども、
1:30:28	これが評価項目、保有周期ですとか、本体とか、そういったところで適用する計算式が、設備の種類によって大体決まってきます。
1:30:40	それをとりません。
1:30:44	もうちょっと質問形式にしてしまう。
1:30:46	まずタイトルは定式化された計算式を用いてってということなんで、定式化の話ですと、定式化の中にはにレグとか読んでいくとか、横置きとかいろいろあるんですけど、
1:31:00	まず定式化の中にあるいろんな形の機器全部の話だと思う。
1:31:05	いいですか。
1:31:08	はい、日本原燃星野です。はい。全部の話になります。
1:31:13	はい。で、物はいろいろありますねというところで、
1:31:19	下端支持容器だとか、片側支持容器とかっていうのはあるんだけど、
1:31:24	そういう区分ではなく、
1:31:29	カタンでも (1) の組み合わせで、評価式の組み合わせで計算してるものがあります。
1:31:36	片側でも (1) も使ったらば (2) も使ったりするので、その計算式の組み合わせごとに、計算書を並べていこうと。
1:31:47	いう結構な改革をしようとされてます。

1:31:53	すいません、日本原燃沢です。ちょっとここ、やりたかったことっていうところと、もしかしたら私の認識がちょっとまたずれてるかもしれないので、その時は指摘いただける
1:32:03	までやりたかったこととしましては、共通的なフォーマットを示したいですっていうのがありました。20 ページから、40 ページのところ、全体のフォーマットをまず指名しました。
1:32:16	で、これ前回のヒアリングの議論の中で、斜線いらないところは消せばいいじゃないかという話がありましたので、次に、じゃあこのフォーマットじゃ何でこんなに示したのっていうところなんですけども、抜け漏れないようにっていう観点でこの上から両括弧 1 かな。
1:32:31	最後、両括弧 503 っていうところで計算式に使ってる諸元が全部ありますよってことでまずは共通フォーマットを示しましたこれワンクション、
1:32:39	でそこを挟んだ上で、次に下のページ、42 ページっていうところから始まるんですけども、斜線消したもの、特に諸元のところなんですよね、43 ページ、44 ページっていうところで、
1:32:52	斜線消してくると、このように、本当書面のフォーマットがばらついてきますよっていうところでちょっとこれ個別フォーマットっていう呼び方させていただいてます。個別フォーマットということで、これをんと、
1:33:05	設備の形状とその設備の形状に伴う計算式ごとに集めていくとこういふふうになります。大町土肥式締め示そうと考えました。そうなった時にこのフォーマット 1 個 1 個がどのフォーマットなんだっていうところをまずお示しというか、かなり示さないといけないなと思ったのが 19 ページこれ後からへ、
1:33:24	バスでそうなったときに、先ほどカミデさんの話にあった方が指示とかっていうところなんですけど、
1:33:30	例えばこの 1 から 26 っていうところ、ここ私間違ってるかもしれない。
1:33:34	例えばこれ 1 遍にスタートが引き認可の時にデミスタっていう容器の集合体とかに式がやっぱり集まってしまう。スカート支持だったり、だけど今回類型化をやってる上でそこに戻ってしまうのはよくないっていうのがこれちょっと、

1:33:47	条件を考慮してしまつたところで、なつた時にじゃあこのパターンの1のフォーマットは何ですか、26のフォーマットは何ですかというこつで、計算式の組み合わせとで指名さうつて考へたのがこの一連の流れになつてございます。以上です。
1:34:05	販売を理理解
1:34:08	15ページの6g。
1:34:11	との対応でもうちよつと、
1:34:14	教へてもらいたいんですけど。
1:34:16	54ページ、55ページ、54ページつてここが定式化された式をつていふので、全体ですよ。
1:34:23	畑橋の方の資料もいるんですか。
1:34:27	1枚めくつて55ページにいくと、
1:34:32	評価計算式の組み合わせ(1)(2)つてなつてるのが、よくわからなくて、今の現状の計算書だとですよ。
1:34:42	4、21日定式化された、42121の1、下端指示、その次パターン。
1:34:51	新しい次の4脚が最初にあつて、次パターン指示で次は片側指示つていふ形で、分類で、目次がついてるんですけど、そこをさへるつていふことですよ。
1:35:05	はい、日本米沢ですよ。そこをもうちよつと前回の議論をまた自分といふか我々間違つたかもしれません。もともとは今カミデさん越しご指摘あつた通り、前回、前回といひますか第2回申請で出した並び順で、設計条件を全部並べて、
1:35:20	機器を重く並べてといふことで構成してました。その中で前回の議論の中で、さういふふうになつたときに見づらいよねつていふ言葉をちよつと引つかかつてしまひまして、さうなると、このペアで示すべきなんじゃないかつていふところで今こつのような構成で、
1:35:36	本当評価式ごとに示すつていふことで今考へたといふのが今の構成になつてございます。以上です。
1:35:43	はい。薄井。
1:35:45	ちよつとわかりさうな気がする。
1:35:47	あと質問は、今の現状の申請書の受け方ですよ、破綻し時4件。
1:35:54	いふのがまず一つの塊でありますけど、その中で今回整理をした26戸の計算式の組み合わせ、いくつかさうものがあるのか、片足じゃもう各

	項だけですかという整理になってるのかその辺の対応関係はいかがですか。
1:36:11	はい、八木沢です。はい。第2回、すみません、ぴんときました申し訳ないです自分ずれまして、下端指示って言った時にその集合体で我々示した六つになってございます。
1:36:23	その時も、ちょっとフォーマットってところで、集合体集めていってやったっていうところになっててその六つには、あまり今となっては意味がないかなってことで考えてございます。そんな時に今その無数にあった方、指示は行って、
1:36:38	例えば
1:36:39	ありましたっていうのであれば、その三つは、ちょっとこれ、もう少し調べなきゃないんですけど、両括弧3であったり両括弧5であったり両括弧7であったりで、その三つで構成されてるような形になってございます。
1:36:51	なので申請したときの、本当やったことは書いてなくて見せ方の構成が、このフォーマットの構成から引っ張られて今こういう形になったというところでございます。以上です。
1:37:02	規制庁木場です。
1:37:04	私は何となく理解はしつつ
1:37:07	結論としては、
1:37:09	いきなり、やっぱ目次としては一番最初に定式化したと、その次の階層はパターン支持とか、片側支持っていう形のグルーピングで並べてもらったほうがわかりやすい。
1:37:22	ます。その中で、フォーマットを下端なら、この形式だった一つのフォーマットにすると、余計な斜線が全部取れるのですっきりするんですけど、
1:37:33	原燃の中の中にはこの中にもいろんな形があって、一つのフォーマットにしちゃうとまた斜線がダースと入ってしまうものがあるからそこが、
1:37:43	悩みどころだと思うんでそれを解消するために、もう昔から切り換えちゃったってことだと思うんですけど、基本的には私が言った通り片岡丹でまとめてもらいたい。カタノ中では一つのフォーマットで示してもらいたいってことが基本的、

1:37:59	な、最初の要望です。そうしたときに、どうしても表が見つらくなって しまうものがあるんだというのであれば、
1:38:10	その差をちょっと見せてもらいたいなと思います。今カタノ中で、例え ば三つ式があったっていうことをその三つを最大公約数的に、
1:38:21	表現するフォーマットを作ったときに、もうこんなに見づらくなるんで すよっていうさ様があればまずちょっとお話ができると思いますので、 そのあたりもう1回見たいなっていう感じなんですけど、いかがです か。
1:38:34	すいませんコサクです。すいません。補足ですけど、若干違うことを言 うかもしれないけど、最終的には一緒になるかなと思うので、重ねて ん。
1:38:45	お話すると、
1:38:46	19 ページで一覧を作られてて、これ数字だから訳わからないんだと思っ たんです。
1:38:55	固有周期ワー、3 ポツ 1 ポツ 2 で意識整理してます。そのやり方とし て枝番の 123 シート作ってますと。
1:39:06	ということで、どの枝番を使いますかということによってインプットデー タが違うしアウトプットの示し方も違うと。
1:39:15	ということで
1:39:19	一方、
1:39:21	様式をそれぞれ作っていきますという意味合いに読めるとは思います。
1:39:26	同じようにそれに対応して本体はどうしゆう評価ですかというところで これが、
1:39:35	枝番じゃなくてポツ 123 という形になってますけど、いうものがありま す。支持構造物はこういうパターンがありますということで、その組み 合わせを示されていると。
1:39:47	いう古藤であるんですけど今言われた
1:39:53	カミデから言った、片足云々っていうのはこれのうちのどこなんだと。
1:39:59	いうところ
1:40:03	数字じゃなくて内容を書いてもらうと。
1:40:06	どれが何を、
1:40:09	に使うフォーマットなのかと、いうことがわかり、結局

1:40:15	カミデが行ったところの枠の中に、実際にはどれを使うんですかねというところの、実はこの枠はこれとこれとこれだけですとなれば、
1:40:26	その枠の中では三つを使いますと言えばいいし、或いは三つ分ける必要ないよねって言えば束ねばいいしと。
1:40:34	いうことなんだと思いますので、少し
1:40:40	何ていうんすかね。内容として整理をしてみてもらったらいいかと思います。私自身も、目次で括弧 123 と言われても、結局これ何の、
1:40:52	説明してるんだっていうのはわからないので、その点では、今話を踏まえて、意味の通じる
1:41:00	小分類というところ書類を作っていたらなと思ってまして、結局は、カミデの言ったことと同じで、
1:41:11	枝番としては今と同じようなものがありつつその内数として様式いくつか設けるのか、一つでいいのかというところを整理をするのかなと。
1:41:23	複数の計算書の中で同じ様式を使うんだったら同じ様式を使えばいいし、
1:41:30	ということじゃないかなと思いましたが、坂さんいかがでしょうか。
1:41:36	はい、日本江沢です。はい。私も今回答える前に、同じようなことを考えてまして、物っていうところ私抜けてたのが一番よくないんですけどその加担指示とか名称をつけたところ、
1:41:48	そこを、ここの 19 ページのこの一番左に入ってる (1) から 26 というのは何の意味もありませんので、こことうまく組み合わせ先ほどカミデさんからあったフォーマットっていうところと、目次っていうところで、
1:42:00	ちょっと構成を見直すのかなと考えてございました。その上で先ほど上出さんからありました、一度、ちょっとこれホーム、どうなの見やすいの見にくいのっていうところがあるのであればまた、
1:42:11	ヒアリングでご議論させていただいてっていうところで、これまでに至るまでにも、その 6 分類に対するフォーマットを作ってますのでちょっと早いうちに取り込んでいければなというふうに考えてございました。以上です。
1:42:24	規制庁、すいません。
1:42:27	ちょっとずれちゃうことできるかもしれませんが、
1:42:30	ケニアのこないだ出した申請書が正しくその項目で、

1:42:35	同意として書くとあんな／がいっぱいになってしまった、嶋真下の姿じゃなかったかなという記憶があって、先ほどコサク参加型のこの学校が、何と結びついてるかっていうところをやってフォーマットが幾つか組み合わせさせた形になりますっていう。
1:42:49	答えも含めてお出しをするということでいいですか。
1:42:53	コサクですまずそれやっていただいていいと思うんですけど、追加で申し上げると、この次の 20 ページからの共通フォーマットっていうのはいらないと思うんですよね。
1:43:08	曽根嗟峨です。はい、わかりました。
1:43:12	先ほど言ったように使うときにこういうパターンがありますだったらそのパターンごとに、こういう表形式で結果示します、序所入力と結果示しますと言ってくればいいだけなので、
1:43:25	それをしっかりと整理してその様式ごとに、必要な項目が入っているかというのが確認がとればいいので、よろしくお願いします。
1:43:38	規制庁神谷米澤です。はい。
1:43:41	すいません。
1:43:42	まとめると、最初私、最大公約数的なといった、言いましたけどそんなものを作る。
1:43:49	で、今 26、
1:43:51	まずそれは生かしましょうで、これをどう見せるかっていうことでもう個人の対応をつけて、この形式の機器には (1) 各
1:44:02	さんがあるんであればその性分ということに
1:44:06	で、
1:44:07	パターン 1 の要目。
1:44:09	パターン 4 結果という形で、並んで押させていいと思いますから、そういう形でちょっとありようというか、イメージ見せてもらう
1:44:20	思います。で、20 ページ以降の共通っていうのは要らなくて、結構
1:44:25	あったとしても補足で、
1:44:28	申請者につけるのはこういうフォーマットであります。本整理した項目、結果だけついてるかっていうところなので、また改めてちょっと見せてください。

1:44:39	はい。日本原燃佐川です。19 ページのところと、ちょっと一つ入らなくて42 ページ以降というところを組み合わせて、訂正したものでまた確認させていただきます。以上です。
1:44:56	よければさっきのS Aの話、S Aの条件の話っていうのはわかりました。
1:45:02	はい。日本の石田でございます。すいません私も記憶を思い出しました。D Bの条件がS Aを上回ってれば衣装評定事業、仕様表の書き方としては変更前にD Bの条件を変えて、
1:45:15	変更は変更なしっていうようなパターンになります。今回の表を作る時にD B S A並べたときに、そうですね思い出しました。変更なしって書くのも変だし、っていうのもあって、合体させて書くかバーにしようかって悩んで、
1:45:30	D Bを変えてS A場にするっていう手段をとったということでございます。以上です。
1:45:39	規制庁上出です。それだと、
1:45:43	違う。
1:45:46	実数はい。
1:45:48	時水でどういった方が間違いないかなという感じはします。
1:45:52	コサクです。カーD B条件に含むという意味合いであることを明示をするか、
1:46:01	D B条件、
1:46:05	よりも全然条件が厳しくありませんというS A条件が、
1:46:11	あればそういうような表現を工夫するんですけど、いやD Bと同じ条件なんですっていうんだったら、同じ数字書いてもいいし、
1:46:20	そこら辺の考え方が助教次第かなとは思んですけど。
1:46:27	若干バーだ等設定しないっていう意味合い等の区別がつかないので、そこがちょっと気になりました。
1:46:37	はい、弓削西田でございますはい。ちょっと実態を踏まえた上で、適切な表現にさせていただきますこちらで考えて、ホシノくんの方に提示をしたいと思います。以上です。
1:46:49	はい、今ですよろしく申し上げます。どう、動作とかですかね、断線一番短くする。

1:46:55	ちょっと検討いただければ。はい。与儀西田でございます尾崎さんが今言っていたキーワードに負えない場合なので全然
1:47:05	D Bと壁もなりませんよっていう場合もあるとすると動作だとちょっと誤解を与えるかなって気もしてたので、ちょっと条件見た上で書き方を考えたいということでした。以上です。
1:47:16	はい、規制庁開発わかりましたよろしく。
1:47:18	そして、
1:47:19	あとは
1:47:24	48 ページ。
1:47:27	ちょっと細かい話になります。
1:47:34	表の上から二つ目の進度で、単位がバーになってるんですけど、
1:47:40	これ何のことかよくわからなくて、仮想化速度なんですか、新、それを進藤、
1:47:56	清です。
1:47:58	一番、日本原燃星野です。深度と書いておりますが、加速度と同義ですねって。
1:48:06	これちょっとバーにしてしまってますけど、圧縮はGになるかなというふうに見ておりました。以上です。
1:48:14	はい。規制庁算です。いろんなパターン、家族どうで行ってもガルの時と、次の時とってあってそれはじゃあ何のとき、どういう加速度ですかっていう加速度ですか、こうとかそこですかみたいのが、
1:48:26	あると思うので、ちゃんと書いてもらいたいというのが、まず一つ、
1:48:34	その上に固有周期があって、表示桁が少数で課題沢井まで。
1:48:41	なってますけど、
1:48:43	このページの一番したは、こういう周期 0.05 セグって早速、最後の 0 マージしちゃってますけど、これはどういうことなんで、
1:49:02	江村ホシノです。そうですねここ、(3) のところは、0.050 と、書くべきですね。
1:49:11	訂正したいと思います。
1:49:14	はい。
1:49:15	言いたかったのは、ちゃんとチェックしたもので、次出すときは、ちゃんと本当に原燃としてチェックをしてくださいっていうことで
1:49:26	何だろう。

1:49:27	結構多くて、こういうミスが、
1:49:31	いちいち
1:49:33	コメントも付けてないんですけど、
1:49:36	より見やすい資料にしてもらえればと思うんでしっかり
1:49:42	皆さんでチェックしたものを。
1:49:45	です。よろしくお願いします。
1:49:50	日本原燃星野です。はっきりいたしました。
1:49:53	こいつ。
1:49:55	そうです。私の方からは、
1:49:58	大体それぐらいの、他の方は何かあればお願いします。
1:50:05	はい、規制庁、真崎です。
1:50:07	ちょっと、
1:50:08	3 ページ、資料を移してもらっていいですか。
1:50:12	通しの3 ページ。
1:50:14	はい。ここです。
1:50:16	前回指摘しました、最多条件についての記載がありませんで、
1:50:22	強いて書くなら5、あれ、医事課長なら5番目の項目、解析モデル図、
1:50:29	その評価条件の地域というところ、ここに最下条件という言葉を追加してもらえればというのが一つ頭で具体的に今回80、87ページですか、通しの。
1:50:42	移してもらっていいですか。
1:50:46	はい。これ一ですね、具体例ということで、今回示してもらってますけれども、
1:50:54	ですからさっきのところは、この流れでいくと解析モデルのところ記載するような形で5番目の項目に耐えて入れてもらう。で、図でちょっと説明を受けたいんですけども、
1:51:06	まずこれ解析モデル図のところ、最下条件をこれから書く。
1:51:11	つもりでしょうか。その最下条件ってどういう扱いされますか。
1:51:31	少々お待ちください。
1:51:34	あ、すいません日本原燃真田です。今のハバサキさんのご指摘に対しまして、どのように考えたかというところなんですけども、前回議論させていただいた時に屋外構築物の

1:51:46	機器をお話しさせていただいて、それを例にどう考えるかっていうことで我々検討しました。そういったときに、今、結論から言いますとモデル図の中で示したいということで考えてございました。以上です。
1:51:58	はい。規制庁田崎です。わかりました
1:52:02	それも一つの考えだと思いますし、ご存知だと思います耐震部門N o 16かな、これは建物構築物の方ですけども、F E M系の解析の場合にはモデルIIに、
1:52:14	どういう荷重をどういう方向に入れますっていうのを図示してますんで、これ他の成功もそうですしあと土木構造物もそういうF M系の場合にはですね、そういう、
1:52:24	モデル図を入れてますので、それを解析モデルの中に入れるのか、別に入れてですね、別に
1:52:34	火災条件の説明条件として説明をまた別にするとかですね、運転、ちょっとここに考えてもらいたいというのが一つ等。
1:52:44	これ例えばですね、もっと複雑な設備機器ですとですね形状だとかなった場合、
1:52:52	もうモデル図につつ記載できますか。
1:52:57	言いたいことは絶対断っちゃう。
1:52:59	条件によったらそういうことができない、或いは
1:53:03	ある意味ぐちゃぐちゃといいますかですね、見えにくくなってしまうような場合には、
1:53:08	やはりモデルっていうんじゃなくて最下条件というところで、文章できちんと説明する。
1:53:14	そういう方法もあるかなと思ってるんですけども、原燃はいかがでしょうかそのペア。はい、米澤です。はい。すいません。私の勉強不足で建物側っていうところは、ちょっとそこ、自分の頭になかった
1:53:26	建物側というところも確認させていただいた上で、今、議論にありました複雑なところっていうのは、確かにあると思います。
1:53:35	まずそこを書き下した上で、モデルにつけるかどうかっていうところを最終的に判断したいと。
1:53:41	以上です。
1:53:43	はい。規制庁島です。今回特にF Mの場合は、解析モデルそれから境界条件とともにですね裁可方法ですね、前も説明した力なのか、

1:53:55	応力な、
1:53:57	圧力なのか。
1:53:59	変位なのか、加速度なのか。
1:54:01	いろいろなやり方があると思いますんでですねそこら辺を、きちんと説明の方をしてもらえればといいと思いますのでよろしくお願いします。
1:54:11	以上です。はい、米澤です。了解いたしました。
1:54:16	規制庁小尾です。ついでで87ページの話をする、
1:54:21	綿荷重みたいなはねこの面荷重線荷重の判例の書き方だと。
1:54:27	面荷重の縁取りをしている線が実線で線荷重、実線なのでわからないので、
1:54:35	例えば面過剰がフチノしないとかですね、もう少し工夫をお願いします。
1:54:44	はい、日本江沢です。はい、ご指摘の通り、二重になってるようにも感じますので、はい。ここ検討した上で、
1:54:50	対応いたします。以上です。
1:54:55	れるように私には見えます。
1:54:57	最終出すときにはチェックをするか。
1:55:00	あとは甲斐関井ソフト上でもアウトプットが出るので、それを使っちゃうっていうのが一つ失敗のない方法ではあるんですよ。ただ、
1:55:12	原燃の方がいろんなメーカーが入ってて、そういう人もいろいろあるので、それはそれで逆に見にくいってことであれば、ちゃんとチェックをしてという感じなので、どちらでも、私的にこだわりはなくて
1:55:26	どちらかと言う間違いが少ないほうがいいんじゃないかなと思いますけど、検討ください。
1:55:36	はい。日本原燃佐川です。はい、了解いたしました。では、私もその解析アウトプットそのものの方がいいと思うんですけど今ご指摘にあった通り、
1:55:43	すべての汎用ソフトがそう行くかっていうのを含めてちょっとメーカーを議論した上で、最終的にどう示すかということを決めたいと思います。以上です。
1:55:56	はい。
1:55:58	あとその他規制庁側からここにございますでしょうか。
1:56:03	よろしいでしょうか。では原燃のほうから振り返り、お願いします。

1:56:09	はい。日本原燃星野です。
1:56:11	まず2ページのところですけども、最下条件の
1:56:17	項目がちょっと抜けておりましたのでその反映させていただきたいと思 います。
1:56:22	続いて19ページ。
1:56:25	ですね、形式化の計算式のフォーマットの示し方ですけども、今の記載 ですとちょっと、
1:56:34	計算式の組み合わせという、ちょっとわかりづらい表現になってますの で、ここの示し方をちょっと検討して、目次と対応がつくような形にし たいと思います。
1:56:45	20ページ以降にあります共通フォーマットについては、削除させていた だきます。
1:56:56	続いて61ページ。
1:57:00	ですね。
1:57:01	DBとSA条件の書き方のところですけども、ここはですねもう一度ど ういうふうを書くか検討した上で、書き方を整理して、もう一度お示し したいと思います。
1:57:15	あと設備分類と書いてるところですね。ここちょっとわかりづらい表現 ですので、この方もちょっと検討したいと思います。
1:57:30	は、
1:57:33	96ページ、コイルのモデルルーですけども、
1:57:40	江藤本体との取り合いがちょっとモデル図の方には書いてあるんですけ ど、この概要図と農通り
1:57:49	見分けというか、そういったところも踏まえてもう少しわかりやすいよ うになるように、修正したいと思います。
1:57:57	あと87ページ、最下条件のところですけども、線荷重と面荷重です ね、ちょっと区別がつかないような表記になってますのでその表記の 仕方を検討したいと思います。
1:58:10	その表現の仕方ですけども耐震建物16を確認した上でですね、複雑な ものをは文章で補足するなど、書き方についてももう少し検討します。
1:58:23	あと拘束条件については、ちょっと書き足りてないところがありますの で、ここもきちんとチェックして、間違いのないようにしてサンプルを 出したいと思います。

1:58:36	あと解析のアウトプットを使って示せるかどうかも併せて検討したいと思います。
1:58:44	以上になります。
1:58:47	規制庁の竹田です。ありがとうございます。今の説明で何かコメントございますでしょうか。
1:58:53	規制庁コンビニエンスの今後の進め方はどうするんですか。
1:59:07	はい。日本原燃星野です。今日いただいたところ、また修正して、
1:59:13	そうですね。
1:59:16	浅野小。
1:59:18	打ち合わせは2日まででした。
1:59:25	来週、
1:59:28	今日なのか。
1:59:36	規制庁カミデです。
1:59:39	もう1回話聞いた方がいいなって思うのは、19ページの表のところ、計算式の適用の考え方みたいなそれと目次との対応とかそれぐらいは、
1:59:50	もうワンクッションと思いますけど、あとはS Aどう書くかとか割り出しモデル図で追っかけますとかっていうのも、それ中身を実際見ていてまた変わることもあるでしょうから
2:00:04	今日のヒアリングを踏まえても作業やっていいんじゃないかなっていう感じはしてるんです。なので、19ページの表だったり構成のところだけでも簡単な資料で、
2:00:15	今週でも来週の頭でも、浅香朝のヒアリングですね、の後に話ができれば、もうそちらは作業スタートできるんじゃないかなと思ってますけど。
2:00:28	どうしますか綺麗にこれを直して、もう1回やりたいんですっていうのを拒むものではないんですけど、いかがでしょう。
2:00:37	あ、はい、日本原燃星野です。
2:00:41	今いただいたお話の内容で、その19ページのところを、についてもう一度、
2:00:48	明日のこの場を活用しながらご説明させていただきたいなど。
2:00:53	ちょっとできれば、今週の金曜日、ちょっと間に合わなければ来週の月曜日に説明させていただければなと思います。

2:01:03	モデル図の方ですけども一応今日いただいた内容を踏まえて私、指導の方でこういうふうにしようということは検討するんですが、ちょっとそこでもし相談したい事項があれば、その時にちょっと資料を、
2:01:16	数枚つけて、ご相談させていただきたいと思います。以上です。
2:01:23	朝のヒアリング設定してるのもそのタイムリーでコミュニケーションっていう、
2:01:29	なのでうまく使ってもらえれば、
2:01:33	耐震に限らず他の条文も、
2:01:39	フレキシブルにというか、ちゃんと目的に沿った形で使ってもらえれば、
2:01:44	私の方から、
2:01:47	古作です。
2:01:50	その点で言うのですねさ、
2:01:54	金曜日ぐらいにはって言われたのもなんでそんなに時間かかんのっていう。
2:01:58	ような気がするんですけど、何。
2:02:01	どんな作業が必要っていうことなんですかね。
2:02:07	はい。日本原燃保証です。すいませんモデル図の方のことも頭に入れてちょっと話してしまったので、19 ページの方のところでもまずご説明するのであれば、
2:02:20	明後日ぐらいに説明させていただければなと思います。
2:02:27	はい。コサクです
2:02:29	まとめてとかじゃなくて一つ一つ、
2:02:34	解決していくということで、よろしくお願いします。
2:02:40	日本原燃星野です。承知いたしました。
2:02:45	はい。規制庁竹田です。その他よろしいでしょうか。
2:02:49	日本原燃から何かございますでしょうか。
2:02:56	はい。日本原燃特にございません。ありがとうございます。
2:03:08	ありがとうございます。
0:00:01	はい。規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始いたします。本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認申請について、
0:00:11	地盤モデルの対応状況について確認を行うものになります。

0:00:15	規制庁側の出席者は長谷川管理官、キシノカミデタケダ、ウェブからハバサキが出席しております。
0:00:24	それでは日本原燃から出席者の紹介と、本日の達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:32	はい。
0:00:32	はい、じゃつなげられる。
0:00:35	日本原燃事務局の赤間でございます。日本原燃の出席者紹介いたします。
0:00:42	地盤関係で、マツモト、ヒロタニ、タケダでは48銭。
0:00:49	事務局より、サトウ、
0:00:52	タカハシ、ナカハマ、
0:00:54	関西電力様より、秋田様の設計となりますね。
0:01:02	それでは説明の方、開始させていただきます。
0:01:07	はい、八重樫でございます。本日のヒアリングといたしましては金曜日のヒアリングを受けまして、当社といたしまして、今後、地盤モデルの検討を進めていくに当たりまして、金曜日のヒアリング内容を踏まえて、解析といったところをですね、
0:01:22	当然設計さんの方に始末かけて実施しているところでございます。本日といたしましては当社の認識として金曜日を受けてですね、今後こういった形の方の計設定の方を実施していくといったところを考えているところがございますので、
0:01:37	そちらの内容といったところが、金曜日を踏まえた内容を、の内容とですね、とっているのかといったところのですね認識がずれていないかといったところをですね、事前に確認させていただいて今後の検討ケースといったところにしっかり反映していくといったところをですね趣旨といたしまして、
0:01:54	ご説明の方を実施させていただきたいというふうに思っております。
0:01:58	うん。説明に当たりましては当社の趣旨を踏まえまして当然設計さんの方で解析の方を進めていただいているところでございますので、そちらの方の具体的な解析の内容を含めて、解析のそのケースの内容を、
0:02:12	トーセさんの方からご報告をしていただくといったところで進めさせていただきたいというふうに考えております。
0:02:24	当然設計もでございます。

0:02:26	それではですね、現在、当然設計の方で検討したケースについてですね、ご説明をさせていただきます。金曜日につきましてはですね前に
0:02:39	1度、お約束した31名不足した設計ということでやったんですが、それではですね全体の状況がわからないということで、今回はですね埋め戻しと、これはもともと線形でございましたけども、
0:02:53	それに対してですね、鷹架層につきましては、材料検査の材料減衰ですとかG10、その動的変形特性を考慮するというものをまず、ケース1として実施いたしました。
0:03:08	それからですね、ケース2としましてはその他梅本指導鷹架層の条件は同じでございますが、実際鷹架層の減衰をですね3%下限値として設定した方法を実施しております。
0:03:23	これにつきましては材料減衰はですね実際の要素試験の材料減衰ということで、一般的にはですねこれ自分の方にも書いてございますけれども地盤の減衰というのは、
0:03:36	3%から5%ということで、そういうエイジアの一般的な上げ、散髪とか5%ということで、そういう仕入れた場合にどうなるかということで、ケースの2というものを実施しております。
0:03:48	参考のケースでございますが、これはですね梅本氏のところなんですけど、これにて、これはですね実際に測定したですね監査方法等を、の移動をですね、考えない物性値を入れたものでございます。これにつきましてはですね、前回やっております
0:04:05	MOX前回やってます解析アルトン等の成功を取るみたいのような形で、実施させたものですので参考ケースとして入れさせていただきます。
0:04:16	それではですねまずそれに、すいません今日だよね。すいません。規制庁鏡です。今何か3ケースぐらいで、検討を進めているというお話でしたけど、
0:04:31	金曜日の時点でそういう話ってされてたんですけど、ちょっと私も出席はしなかったんですが、どういう感じなんでしょう。
0:04:43	金曜日の段階ではですね、ごめん。規制庁の長谷川ですけど。
0:04:50	一応確認すると今さ3ケースやって、特に2とか3がよくわかんなかったんですけど、我々としてはこの間のやった、線形でやったものはそれで、

0:05:01	それとして別におい、構わないんだけど、鷹架層の動的な特性とそれから表層の部分の、
0:05:13	部分の影響っていうのを両方見たいんだけど、
0:05:19	それはそういうふうなケースを訓練のかな。
0:05:24	ちょっと今説明がちょっとわかんないところもあったんですけど、
0:05:28	はいすいません当然設計の尾野でございます。今長谷川管理官のおっしゃった通りですね梅野のですね、非線形特性を入れておりますし、鷹架層につきましてもですね等は動的変形特性を入れてございます。
0:05:42	で規制庁の長谷川ですけど、区別できるのかな。もし仮に扇形のものど、どっちが、
0:05:52	影響があるんだろうねと。
0:05:55	言ったときに、その二つを最終的にはミックスするんだろうけど、各々の影響っていうのもわかるようなケースに組んであるんですかね。
0:06:08	東電関野でございます。今回ですね参考としてですね、上げてるケースなんですが、
0:06:15	若干参考ケースの方はですねディーゼー郎ですねこれ表層のG0なんですけども、これを一定にした結果が入ってございます。
0:06:27	これにつきましてはですね、ここで言ってる周辺のものにつきましてはですね、新規設計というよりはですね減衰関係3%を入れた影響っていうのがですね、
0:06:40	この差で出てくるというふうに私の方では考えております。
0:06:46	だからひずみ剛性の影響というよりも、減衰の影響は見れるっていうそういうこと。
0:06:57	G0の影響も入ってございます。
0:07:00	入ってるのね。いずれにしろ、結果、要は表層の方が影響度合いが大きいとか、鷹架層の方が影響の度合いが大きいとか、区別できれば、
0:07:14	基本的にはいいと思うんですけど、
0:07:16	それは区別できる。
0:07:19	はい、当然設計のものでございます。それは今回の結果でですね、に区別することができるというふうに考えております。了解じゃ、現状でいいので、
0:07:29	どんな具合になってるのか、ちょっとまだ解析の途中かもしれないけれども、どんな具合に見えてるのかっていうのを、この先、まずはちょっ

	と説明してまた最後戻ってくるかもしれないですけど、あのケースの確認に、
0:07:49	あ、すいません規制庁川井です。1点だけ、今三つケース挙げてましたけど、MOXで作業したのはどうですか。
0:07:57	燃料加工建屋、
0:07:59	参考ケースと言ってるところ。
0:08:04	11のケースになります。申し訳ありません、1のケースで埋め戻し同も多く、
0:08:12	深さ方向依存を入れて、鷹架層もですね、ひずみ依存を入れているというケース1がその比較になります。はい、わかりました。三角です。
0:08:29	あと、
0:08:32	よろしいでしょうか。
0:08:33	どうぞ。
0:08:36	ケース1がミックスしたやつだから、
0:08:39	こいつが大きかった場合に、どちらの方が影響してんのっていう。
0:08:44	もう、ざっくりわかればいいかな。そうですね。はい。
0:08:50	結果見たらわかるかもしれないけど、
0:08:53	規制庁ハバサキです。本庁も聞こえてますから、本庁側の方とも聞こえないんですが、
0:08:58	規制庁から日本原燃、聞こえてますか。
0:09:03	はい。日本原燃六ヶ所です。はい。金所長ありがとうございます。規制庁カミデつつ、説明の続きをお願いしたいんですけど。
0:09:12	はい、当然設計のものでございます。それではですね2ページの方を開けていただきたいんですが、
0:09:19	これがですね、表層の設定方法でございます。もともとですねこの黒で書いてございますのがですね、もともと埋戻動の平均値と言って深さ方向依存を入れてるものでございます。
0:09:34	今回はですね、このケース1ケース2というものはですね、実際にasisで取ってる場所がこれGL-8メートル程度、ケース1の場合はこれ今1という、
0:09:46	ポーリンクでございますけどもそこからとってるものに対しまして、深さ方向依存をですね入れております。深さ方向以上入れることによりましてですね、

0:09:56	この右側に書いてございますG0のような形で、
0:10:02	梅本指導の王子井沢が深さ方向依存するというふうな形になってございます。
0:10:07	下の方がですねC、これ4階、家方向の値をとったものでございますが、
0:10:15	その4項の値からですね、同様にですねメモとしての深さ方向依存のですね、設置を入れて設定してるものがこのケースでございます。
0:10:26	で、この表層のですねケースを入れまして解析をした結果でございますが、
0:10:32	まずですね今回ご説明させていただきますものはですね、まず高野。
0:10:39	周辺ということで、現在ですね、
0:10:48	経営建屋、建屋A B建屋、
0:10:54	A版エーワンとですねこれにつきまして、
0:10:59	7ページのですねボーリングの結果を、を整理いたしまして、その整理結果から、解析を実施しております。その解析の結果がですね、
0:11:10	3ページを見ていただきます。この3ページの結果でございますが、赤で書いてございますのが、これがですね中央エリアの平均モデルと云ってたものでございます。
0:11:24	これ、これがこの赤に対しましてですね、先ほどのケース1でございますが、これはもう緑色でございます。実際にこの中でですね一番、
0:11:37	コンマ2H z 2秒ぐらいでですね一番大きくなってるところの緑色のやつでございますが、これがケース1Eでございまして、全部設計をして形成を取り入れているものでございます。
0:11:50	それに対してすみません、規制庁深見です。もう1回、どこの、これ、どこの建屋の10日だけもう1回教えてもらっていいですか。
0:12:05	形ですね、これは設計でございます経営建屋でございます。
0:12:10	はい、わかりました。
0:12:17	ちょうど中央地盤、中央地盤の図真ん中辺りの建物になるかと思うんですけども、
0:12:30	再び1本あります。
0:12:33	今ここで示してます。三つ赤いポアよボーリングコアあるところでございますね。今、0でしたところですねこれは経営で、
0:12:43	今回ですねここにあります、周辺って書いてあります、五つの売り、

0:12:49	建物についてですね解析結果をご説明しているというふうなことになります。
0:12:56	五つもあんの。
0:12:59	建物としては、いつ浅倉ククチ
0:13:02	すいません、四つでございました。
0:13:05	そのうちのまず、経営の説明を今させていただいております。
0:13:10	で、そのですね決算に対しまして、減衰のですね科技庁3%、これ実際に逸散減衰ですとかそういうものを考えてということで、
0:13:21	3%の減衰を考えたものはですね、青のものになります。先ほどの緑よりもですね、少し越智小、下にですね、ピークが出てるようなものでございます。
0:13:33	それで、最後はですね水色のものがございますが、これをですね、G0一定にしてるものがございます、大体
0:13:44	これが先ほど長谷川管理官にもお話したんですがこれG0が大体、お手元ですね、中央地盤のモデルと同じぐらいのところがございます、
0:13:54	それを比較したものが、参考という形で水色で書いてございます。
0:14:11	いえ。どうぞ、田力でございますが、これがもう鉛直方向でございます。
0:14:29	豊田関野でございます。それでは次のご説明に移りたいと思います。
0:14:37	早く、
0:14:38	これはですね建屋、
0:14:42	先ほどの経営のですね右隣にある建屋でございます。
0:14:47	これにつきましてですねこれ方がですね、中央エリアの地盤モデルというものでございますが、それに対しまして、緑色のですね、直下地盤モデル。
0:14:59	非線形非線形と直下モデル、施栓系の3%減衰、
0:15:06	とあと、その下にですね、臼井水で書いてございますのは、表層一定というふうなものでございます。
0:15:17	これ2、先ほどもそうですけどもこれにつきまして下線でですね建屋の固有周期を書いてございます。
0:15:25	実際これN - S数の方がですね、0.305、EWが0.33338という固有周期体。

0:15:32	で書いてございますが、そこの部分につきましては、赤の線の方がですね、高い値になっているというふうな結果でございます。
0:15:42	鉛直の方も見せていただきますと、こちらに関しましてはですね、逆にですね鉛直の方は、こういう周期の方です。
0:15:51	若干ですね、直下モデルの方が大きくなってるというふうな結果になってるという状況でございます。
0:16:00	続きましてA B建屋、
0:16:04	今度は先ほどの経営のK B EのA Aの下ですね、そこの経営の斜め右下ということになります。
0:16:14	この点につきましてはの結果でございますが、こちらもですね大体水平方向につきましては、
0:16:22	周期体のところではですね、赤いやつがですね、中央エリアの地盤モデルが大きな値となっていて、その他直下モデルケース1 ケース2 Eという形で、
0:16:35	応答がですね係数機能は若干大きくてそれも係数が小さくなるというふうな傾向になってございます。
0:16:45	ここですね
0:16:49	中央エリアモデルとですねケース1 ケース2 のですね、大体応答のオートスペクトル自体がちょっと変わったこととなっておりますがこれ
0:17:01	地方の一次周期のところがですねこれ小さくなりますので、その一次周期二次周期、ここで言いますと0.5が一次周期で0.16が20周期赤で言いますと、
0:17:12	その辺が低くなってございます。それに対しましてですね上の剛性が高くなった分だけですね、事業をですねこういう周期がずれておりますので、大体コンマ3から3ぐらいにですね、
0:17:25	ケース1 ケース2の方がですね、の応答の低い部分が移動してきているということでございます。これ競争のですね固有周期の影響でございます。
0:17:37	鉛直の方も見せていた網。
0:17:40	見ていただきますと、
0:17:41	これも先ほどのですね、Aと同じような形になっていくということでございます。
0:17:48	引き続きまして、今度ワン木曾の応答を見ていただきます。

0:17:55	腕章につきましてもですね、赤、緑、青、水色、これについてはですね、同じ色でS表示してございます。このA案につきましても、建屋収益や、919 というところでかなりの
0:18:15	を挙周期のところで、
0:18:18	線が入ってると思いますが、そこら辺につきましても若干ですね、赤よりも、ケース1 ケース2Eの方が少し大きくなるというふうな傾向になっているということでございます。
0:18:30	鉛直の方見させていただきますと、
0:18:34	前地区の方もですね、先ほど藤様のお形になっておりまして、ちょうどですね0.15の、これ、一時のピークだと思うんですけども、
0:18:45	一次固有だと思うんですけどそこで小さくなる、赤の方が小さくなるというふうな傾向にあるかとなるかと思えます。
0:18:52	ここまでがですね、AA建屋周辺の結果でございます。
0:19:02	引き続きご説明させていただいてもよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
0:19:10	続きましてですね今度東地盤のですね建屋につきまして、斜線Acた点につきまして比較したものを示させていただきますでございます。
0:19:22	これにつきましてもですね、赤で入れたものがですね東地盤エリアのですね平均地盤モデルということで、赤の須藤になります。
0:19:33	ケース1の方ですが、
0:19:35	非線形性を取り入れ、取り込んでいるものがですね緑色で、ここで言いますとですね濃い緑のところですね濃い線の緑の上がケースは
0:19:47	3%下限現在の3%管理を入れたものがですね、この青色のものでございます。
0:19:56	えーとですね、表層一定にしたものでございますけども、この表層がですねかなり低い値が出てるものを対象にしてみましたので、
0:20:06	ちょっと全体的に大きくなっておりまして、かなりおっきな、もともとですね2に近いような格好の、
0:20:16	スペクトルになっているという結果が出てございます。鉛直の方をちょっと見てみさせていただきますと、
0:20:25	これは鉛直の方でございますけども、

0:20:29	比嘉 C 側のですね東エリアのですね地盤モデルに関して、若干ですね、試設計モデル等、減衰 3%モデルというのがですね、大きくなるような傾向を示してる。
0:20:42	というふうな結果が出ています。
0:20:45	以上、今日ですねご報告しようと思いましたが内容につきましては、以上でございます。
0:20:57	規制庁の長谷川です。とりあえず、状況はわかりました。
0:21:05	最終的にはこれを考察してもらわないと
0:21:09	いけないんだろうとは思ってるんですけど、これで表層の部分の影響はこういうことで、こういうところに出てますとか、
0:21:20	鷹架層の方の影響っていうのがこういうふうになって、結局中央モデルと、直下ないしはその周辺のエリアでやったものと、
0:21:34	比較検討をしたときの、
0:21:41	端緒調書みたいなのについて、
0:21:44	考察はできるんですか。
0:21:52	答弁設計のものでございます。それ
0:21:55	解析側からの評価ということでよろしいでしょうか。
0:22:01	そういうことだと思うんだ。いや、もっとこういうことを見たいとか、何かそういうのも含めて、
0:22:10	今後の何か、今日やったケースだけで、考察できる、もしくは、もう少しこういうケースをやってみて、いろいろやらないと、まだよくわからないのかっていう。
0:22:24	のはどんな感じなんですかね。
0:22:29	当然事業主でございます。それじゃですね先ほどの 3 ページのところですね、今日の今日といいますか私が思っております考察の方ですね。
0:22:41	させていただきたいと思うんですが、今日別に考察する必要はないよ。
0:22:46	それはそれで原燃としっかりこうやってもらえばいいけど、聞きたいのは、
0:22:55	多分、中央例えば中央でやった周辺のやつを見ると、多分中央地盤モデルってやつは、
0:23:06	建物が変わってもそれほど大きな変化ないよね。

0:23:12	はい。そうですね。全体、並べてないんでわかんないけどそうすると、上に立ってる建物からの影響っていうのは、何かそんなに大きくなさそうじゃないですか。
0:23:28	建物から上に立ってる建物をここですか。建物が違うからといって、何か、その下の入力要するに赤い線って重ねて書いたら、建物ごとに、
0:23:42	ほぼ変わらないそうですよねと。
0:23:45	そうですね。はい。それは変わらないですねほぼ。
0:23:49	だとすると建物の影響っていうのはそんなに大きくなさそうだよねっていうふうになって、
0:23:58	そうすると多分表層を、
0:24:01	藤氏、鷹架層の、どっちがどこに影響してるっていう、そこの違いの考察をし、しないといけないんじゃないですか。
0:24:12	多分今、見せてもらってるやつでいうと、0.1 から 0.2 ぐらいのというか 0.0。
0:24:22	0556 ぐらいかなあ。
0:24:26	0.2 にかけてのところが、
0:24:29	出っこみ引っ込みが結構あるよね。
0:24:31	まずね。
0:24:33	表層、表層というか今回新たにやってもらった方が、ちょっとギメン入れるじゃないですか。
0:24:41	はい。
0:24:42	それと、
0:24:45	もう 1 個は 0.5 秒ぐらいのところにももう 1 個ピークが出て、
0:24:49	来るじゃないですか。
0:24:52	はい。
0:24:53	この辺りの考察っていうのがどっちがどういう影響でとか、それと、この沈んでるところと、今ちょうど 0.2 から 0. だから、0.3 ぐらいのところ、
0:25:05	その辺っていうのがいつも変わっ大きくそこが、
0:25:09	変わってるじゃないですか。
0:25:12	はい。その辺の考察というのは今回のケースだけで考察できそうですかねと。

0:25:21	はい。当然設計のものでございます。今このですね、橋田さんおっしゃられてる例えば中央地盤の赤でですね0.5Hzで下がってるというのは、
0:25:33	地表のアジアの表層のですね固有周期、
0:25:37	のところ下がります。で、これ1基です所以大体0.5秒ぐらいのところですね一次の固有周期がありまして、実際にそこで不安が戻って、
0:25:50	うん。
0:25:54	網谷です少々お待ちください。
0:25:59	忘れそうだよね。
0:26:01	こっち側もね、こういうしながら評価セガワでございます。考察はできると思います。はい。
0:26:10	わかりました。だから、何がいいとか悪いとかじゃなくてちゃんと考察をして、
0:26:17	みずからつくったモデルのモデルというのは、妥当性は説明できれば、それで構いませんと。
0:26:31	ただやっぱり出っこみ引込みがあるから、その辺りをちゃんと科学的に考察をして、今言ってるその中央地盤モデルが、
0:26:44	中央じゃなくて平均モデルが良いという妥当性っていうのがこれは原燃が最終的に説明をすべき。
0:26:55	ものであると、そういう認識でいいですよ。
0:27:04	結論いただければいいんじゃない。当然関野でございますが。はい。その通りだと思います。はい。
0:27:10	まずはね、
0:27:12	規制庁カミデです。こちらが今後どうするかっていう話、情報が固めたいんですけど、
0:27:20	とりあえず次海宝が言いますよね。和智彩。
0:27:25	まず、前回入力地震動の妥当性の説明をしますと、
0:27:32	というのが、1月の会合の説明方針。
0:27:36	で、2月の説明っていうのはどうなるんですかね。要は、こういうこういう考えだから。ええ。
0:27:45	我々の入力地震動は妥当だという説明が2月の今月のパイプであるっていいんですか保守性。
0:27:55	話になる。

0:27:57	はい。日本原燃富樫でございます。今神谷さんのおっしゃっていただいた部分の、まず前段の部分でこのような検討を進めていきますというような、全体の方針といったところまでは、説明できるのかなというふうに思っております。ただ、今結果を踏まえての分析ないし考察でそれを踏まえて、
0:28:17	平均地盤モデルの、我々が伝えた一番モデルがいいんだといったところはですね、ちょっと今月は厳しいのかなというふうに思ってるのが今状況でございます。
0:28:26	はい。規制庁深見です。わかりました。そうすると、1月の時点では間違いなく自分たちの入力地震動、正しいと思ってたんだけど、そのあと、検証を進めていくと。
0:28:39	2月で、これでいいんだと言われるものではなくてちょっと路線変更とかいろいろ追加の検討しているところだと、こんな検討をしていて、妥当性を説明したいんだというのが2月の説明で、
0:28:53	最終的な結論はまたその次とかそんなイメージですか。
0:29:01	井上土橋でございます。今、鍛治さんがおっしゃったような今の状況を踏まえるとそういう形だというふうに考えてございます。
0:29:08	はい。規制庁加茂です。それで、2月の会合に向けて、今何建屋がやってますよねエコモやったC、やって、Cありましたんですけど、
0:29:19	2月で、こういう方針で検討していきますという説明をするにあたって、必要な建屋の
0:29:28	メンバーっていうのはどれぐらいあると思う。
0:29:36	はい日本の話でございます。今正直申し上げまして衛藤。
0:29:42	2月の会合時点でいきますと、現状ちょっと解析結果といったところでのそのものをですねちょっとお示するといったところが、ちょっと難しいのかなというふうに思っております。
0:29:53	やはり解析結果を示す時にはその分析も併せてですね、トータル的なものとしてお示した方がよろしいというふうに考えているところでございます。2月の段階としましては、今、冒頭で患者さんの方からお話のあった部分の、
0:30:07	当初の我々申請の時にはこのような位置付けで考えていて、ヒアリングを踏まえてこういう検討も少し追加として必要だといったところが見えてきているといったところですね。

0:30:17	状況的な御説明といったところをさせていただきたいといったところでございます。
0:30:21	はい、規制庁川満わかりました。結果の比較みたいなのは特に、特に出てこずに最初に説明あった例えばその係数の説明だとか、こういうケースで、
0:30:33	評価をします。このケースとこのケース比較をすると、こういうことがわかりますよみたいな説明であったりとかあとは判断基準、
0:30:42	そこ見たし、判断基準もあるかもしれないですけど、でも、要はそういう、検討のあらましというところをまずは、
0:30:52	認識を確認して、それからっていう感じですか。
0:31:01	はい日本への投資でございます。
0:31:04	機能枠組みとしては今、神谷さんがおっしゃっていただいた流れだというふうに考えてございます後、ちょっとできるかといったところは社内で調整した上でですね会合資料に落とし込んだ段階でちょっとご説明させていただきたいというふうに思っております。
0:31:19	田崎さんなんか、
0:31:23	1億ぐらいで打ち切って、
0:31:25	はい、規制庁川満とりあえずは、私の確認は今日のところそれぐらいで、あとほか浜崎さんとか何かあります。
0:31:36	はい。本日はよろしいですか規制庁正木です。
0:31:40	今日の段階ですねそこということで今大野さんのから説明の方は概ね理解をしましたけれども、ちょっと今日のケース、
0:31:51	の図、表を見せていただきます
0:31:54	計数日程。
0:31:57	なぜ、
0:31:59	検討してるんですか。
0:32:01	スペクトル見る間がケース1に比べてあまり差はないですし、
0:32:06	2の減衰に高岡3%一律って一、MOXというのはそういうのを採用してないわけですし、
0:32:13	ケース2はなぜ、何を言おうという趣旨なんですか。
0:32:19	同じものでございます。私どもの方としてはですね、減衰をですね履歴減衰を入れるってということに対してですねあんまり小さ過ぎるんじゃないかというふうな思いがございまして、

0:32:32	一般的にはですね当該地点ですと3%減衰を、を入れたらばどうな一般的なこととして3%減数れたらばどのぐらい変化があるのかっていうことを、
0:32:42	確認したくてこのケース2というのを作りました。
0:32:47	規制庁浜崎です。それMOXのときにそんなことはやってないというふうに理解しているのと、結局、今日の結果も踏まえると、ケース2行って、いずれ不要な、
0:33:02	ケースっていいですかなくなるというふうに理解してるんですけども。
0:33:08	その点、今実際やってる方としては、どういう今市考え持ってまだ、まだありますね。
0:33:17	当然設計の宇野でございます。3%がなくなるというのはですね私はそういうふうには個人的な意見でございますけども、地盤をやってる限りではですねやっぱりその履歴減衰だけを入れるっていうのはどうしてかなというふうに逆に思うところがございます。
0:33:35	一般的に我々にすいません、地盤やってると2次元なんですけども逸散減衰等ありまして、ここまで履歴減衰だけでですね評価ができるのかなというふうに思っております。
0:33:47	規制庁ハバサキですそうするとMOXとかMBもさかのぼるということです。
0:33:55	それについては当然設計のものでございます。それにつきましてはその時点でですね、いろいろ再、裁量がといたしますかですね一番厳しいものを入れるということでやられたんじゃないかというふうに考えております。
0:34:10	規制庁浜崎です。その落としどころというか最終的なゴールを含めて計数が本当に必要なかどうか、今後、既設を続けてもらいたいと言っておきます。カミデです。今日はどんな取り組みしてるか聞いているだけですから、このケースでいいも悪いもないし、事業者が、
0:34:28	いろんなケースでやるのはいいのかなとは思ってますで、結局は、今回の会合でこういう検討をしていきますということですから
0:34:39	その辺はねらいをはっきりしてこういうふうに進めますというのはあの会合でまた議論すればいいしという感じなので、まずは事業者としては、明日から海越上で、

0:34:50	ある程度話、一旦まとめるということだと思いますので、その辺りでまた整理をしてもらったという感じかなと思って今日はこんなもんでいいんじゃないかなと思います。
0:35:03	規制庁場だけ決して私ケースにもうやる必要ないって言いますか、決して必要があるということをおっしゃるわけではなくて、どういう目的でどういう趣旨でという形で確認しただけですそれで、
0:35:18	同等ですね浅香管理官からその表層の影響か鷹架層の影響度特性の影響か。
0:35:25	そうし恒設もできますかって言ったときに、
0:35:28	これ前回のヒアリングでも言ったかと思うんですけども、例えば、表層の影響を見るんなら、平均地盤と同じ鷹架層は線形にすると。
0:35:36	高尾層の影響を見るなら、その逆のモデル化をするっていう検討があるかと思ったんですが今回のケース行き、今回の三つのケースですと、いずれもそれちょっと
0:35:50	どっちつかずのようなどころがあるんですけども、
0:35:53	ちょっとその考え方、例えば、高尾光栄細野駅を見るために、高岡層は平均と同じ扱いしません。そういうやり方ってやってないですね。終わりますけど
0:36:05	今日も今、検討状況で見えますけど書類として出てきているわけでもないですしあとは、MOXや第1回申請の検討とかやり方と比べてどうなんだっていう、
0:36:19	ところがな、これまでもずっと事業者には伝えていることですから事業者その辺りちゃんと説明しなくてはいけない、っていうこともわかっていますよね。
0:36:33	はい、小橋でございます。その第1回との違いといったところに関しては、ご説明させていただくといったところで考えてるところでございます。
0:36:42	はい。
0:36:43	はい。規制庁山崎ですわかりました今日の段階ではまだ情報がそういったところでは整理して、法律ということで、そこをということで理解しましたが、よろしいですか。ちょっと、ちょっと話。
0:36:59	日本とはしてございます。先ほどちょっと会合の資料といったところがございましたのでちょっと地盤の方ですね状況の方だけ申し上げます

	と、ちょっと今、こういったところで速報が上がってきているといったところもございましてちょっとこの今後のちょっと方向性といったところもこういったところをです見定めてちょっと今、
0:37:16	検討しているところございまして、そうですね規制庁ハセガワですけど、別に、
0:37:21	今日きょうは別に今やってる古藤の確認なので、冒頭お話したように、いろいろ考えてやってるということでは、いいのかもしれないし足りなくてまた、
0:37:35	プラスすればいいしというふうにも思ってるんで、今やってることに對しては、それほど、いや冒頭言ったように、どこの影響がわかるように、
0:37:47	ちゃんと考察ができるような、
0:37:50	ケースをやってるんですねっていうところで確認が取れたからとりあえずこれで終わりにしましょう。
0:38:02	はい。いえ。はい。日本原燃松本です。本日ありがとうございました。了解いたしました。
0:38:09	規制庁鏡です。会合とか今後の資料には一応浅尾毎朝ヒアリングしますからそこで確認します。
0:38:17	明日また、
0:38:23	規制庁のタケダ
0:38:24	そして本日のヒアリング以上とさせていただきますお疲れ様でした。